

審査意見への対応を記載した書類（6月） 資料

資料目次

- 【資料1】人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、
授業科目の関係性の概念図・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.2
- 【資料2】カリキュラム・ツリー（新・旧）【設置等の趣旨（資料）2】・・・・・・P.3
- 【資料3】金城学院大学大学院「薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）」（仮称）
の設置計画の概要【学生確保（資料）8】・・・・・・・・・・P.5
- 【資料4】「金城学院大学大学院薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）」（仮称）
設置に関するニーズ調査結果報告書【薬学部薬学科所属の在学生対象】
【学生確保（資料）6】・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.7
- 【資料5】「金城学院大学大学院薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）」（仮称）
設置に関するニーズ調査結果報告書【現職薬剤師対象】
【学生確保（資料）7】・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.21
- 【資料6】「金城学院大学大学院薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）」（仮称）
設置に関するニーズ調査結果報告書【医療施設対象】
【学生確保（資料）15】・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.40
- 【資料7】「金城学院大学大学院薬学研究科薬学専攻（博士課程）」（仮称）
設置に関するニーズ調査結果報告書【薬学部薬学科所属の在学生対象】
【学生確保（資料）9】・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.72
- 【資料8】「金城学院大学大学院薬学研究科薬学専攻（博士課程）」（仮称）
設置に関するニーズ調査結果報告書【現職薬剤師対象】
【学生確保（資料）10】・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.91
- 【資料9】「金城学院大学大学院薬学研究科薬学専攻（博士課程）」（仮称）
設置に関するニーズ調査結果報告書【医療施設対象】
【学生確保（資料）16】・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.109

養成する人材像

高い倫理観、及び薬学領域に関する高度な専門知識と研究能力を通じて課題を設定し問題を解決する能力を有し、薬学研究に貢献できる研究者・医療従事者を養成する。

ディプロマ・ポリシー

本学薬学研究科薬学専攻博士課程は以下の能力を身につけ、所定の単位を修得し、博士論文が学位論文審査に合格し、最終試験に合格した者に対して博士（薬学）の学位を授与する。

- | | | | |
|---------------------------|----------------------------------|-------------------------|-----------------------------------|
| 1. 薬学領域に関する高度な専門知識を有している。 | 2. 高い倫理性を担保した上で、薬学研究を遂行することができる。 | 3. 課題を設定し問題を解決することができる。 | 4. 研究活動を通じて、基礎薬学や医療薬学に貢献することができる。 |
|---------------------------|----------------------------------|-------------------------|-----------------------------------|

カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーを達成する人材を養成するために、薬学領域において以下のような教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）を定める。

- | | | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|--|--|--|
| 1. 幅広い知識、及び研究・医療倫理を学ぶための特論必修科目を設置する。 | 2. 高度な専門知識を学ぶための多様な特論必修科目を設置する。 | 3. 論文読解能力や論文構成能力を学ぶための特別演習必修科目を設置する。 | 4. 科学的な解析手法、統計的手法を学ぶための多様な特別演習必修科目を設置する。 | 5. 創薬や医療の現場などで主体的で自律的な研究活動を推進するための課題研究を設置する。 | 6. 学修成果の評価における公平性と透明性を確保するために、成果の到達すべき質的水準と成果に対する多面的な評価の具体的な実施方法をシラバスに定める。 |
|--------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|--|--|--|

基礎薬学特論
医療薬学特論
研究実践法特論
研究・医療倫理特論

天然医薬品資源学特論
創薬化学特論
生体機能解析学特論
薬剤学特論
病態薬効解析学特論
免疫・アレルギー学特論
生化学特論
オミクス特論
薬物治療研究学特論

薬学総合特別演習Ⅰ
薬学総合特別演習Ⅱ

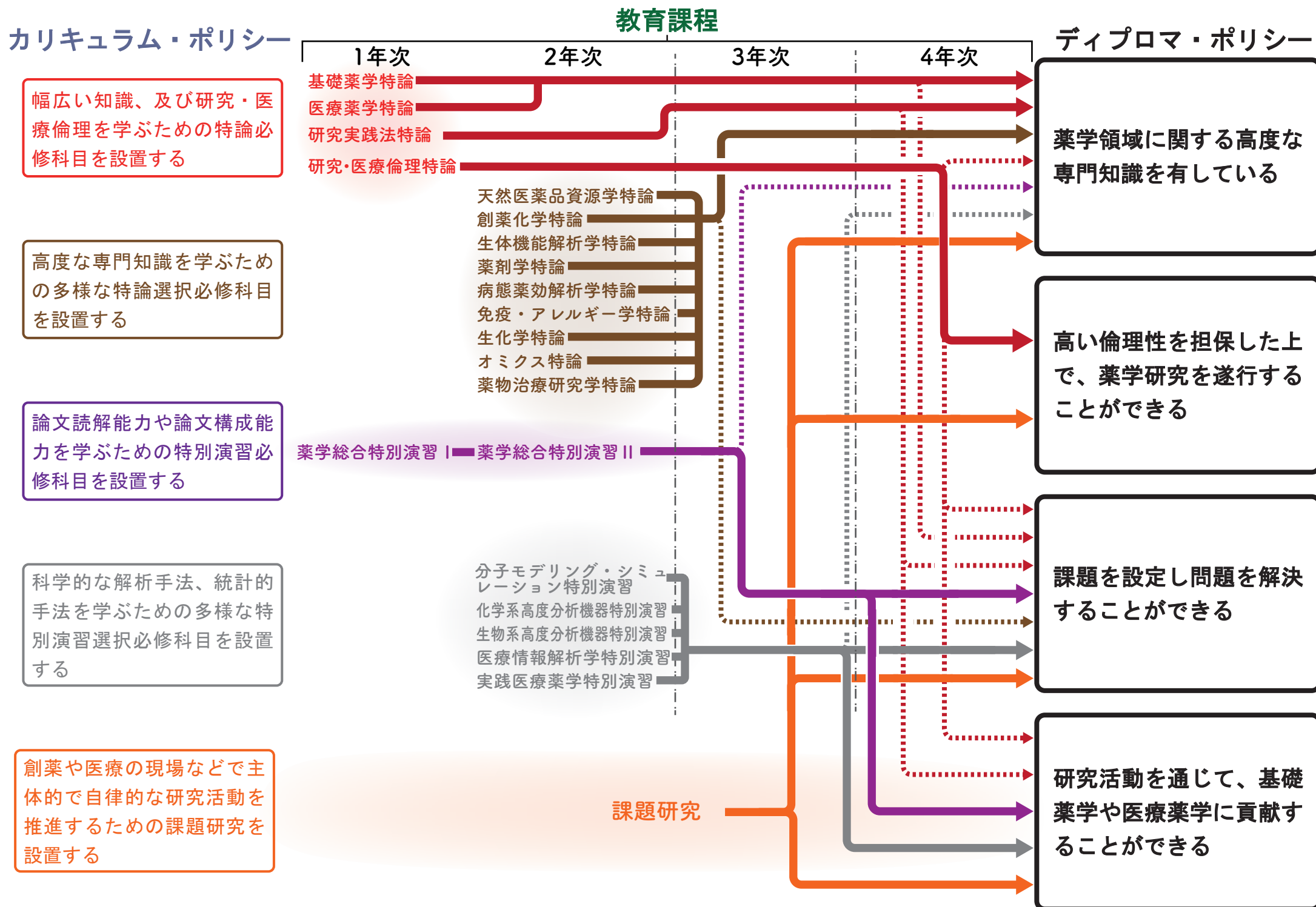
分子モデリング・シミュレーション特別演習
化学系高度分析機器特別演習
生物系高度分析機器特別演習
医療情報解析学特別演習
実践医療薬学特別演習

22の課題研究

授業科目

カリキュラム・ツリー：カリキュラム・ポリシーに沿って編成されている教育課程の科目を学修することで、4つのディプロマ・ポリシーを達成できることを示す。

— DP 達成に向けて学修成果が強く期待される
 DP 達成に向けて学修成果が期待される



CP
(カリキュラムポリシー)

1年次

2年次

3年次

4年次

DP
(ディプロマポリシー)

1. 幅広い知識、及び研究倫理を学ぶための特論必修科目を設置する。

3. 論文読解能力や論文構成能力を学ぶための特別演習必修科目を設置する。

2. 高度な専門知識を学ぶための多様な特論選択必修科目を設置する。

4. 科学的な解析手法、統計的手法を学ぶための多様な特別演習選択必修科目を設置する。

5. 課題を設定し問題を解決する能力を養い、主体的で自律的な研究活動を推進するための課題研究を設置する。

- 研究倫理特論
- 研究実践法特論
- 基礎薬学特論
- 医療薬学特論

- 薬学総合特別演習 I
- 薬学総合特別演習 II

- 天然医薬品資源学特論
- 創薬化学特論
- 生体機能解析学特論
- 薬剤学特論
- オミクス特論
- 生化学特論
- 免疫・アレルギー学特論
- 病態薬効解析学特論
- 薬物治療研究学特論

- 分子モデリング・シミュレーション特別演習
- 化学系高度分析機器演習
- 生物系高度分析機器演習
- 医療情報解析学特別演習
- 実践医療薬学特別演習

課題研究

1. 薬学領域に関する高度な専門知識を有している。

2. 高い医療倫理を踏まえた上で、研究を遂行することができる。

3. 課題を設定し問題を解決することができる。

4. 主体的で自律的な薬学研究能力を有し、医療に貢献することができる。

: 必修科目
 : 選択必修科目
 実線の矢印 : DP達成に向けて学修成果が高い
 点線の矢印 : DP達成に向けて学修成果がある程度期待される

金城学院大学大学院「薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）」（仮称）の設置計画の概要
--

1. 名称 薬学研究科医療薬学専攻（博士課程） 【仮称、設置構想中】

2. 開設予定時期 2022（令和4）年4月

3. 設置の理念、養成する人材像

年々高度化し複雑化する創薬と医療の現場では、問題点を正確に抽出し解決していく力がこれまで以上に必要とされます。本研究科は、薬学分野において高度な専門知識や研究能力を有し、問題の抽出と解決を以て、医療に貢献できる薬学研究者や適切なエビデンスに基づく薬物治療に貢献できる医療従事者を養成することを目的としています。

4. 修了後に想定される主な進路

- ① 専門家として社会に貢献、教育者として後進を指導するアカデミアにおける薬学研究者
- ② 創薬、食品、化粧品研究等を通して社会に貢献するインダストリアにおける薬学研究者
- ③ 臨床試験や調査研究などの臨床研究を通して医療発展に貢献する医療機関における薬学研究者
- ④ 高度医療に特化した医療機関の医療従事者
- ⑤ 国民の生命を守るための衛生行政や福祉向上に貢献する公務員

5. 開設予定の教育課程

教育課程を、「特論科目（基盤科目と専門科目）」、「特別演習科目」、「課題研究」に体系的に区分し、1年次から順次性をもって学修を進めることができるように編成します。また、社会人学生に柔軟に対応した授業を実施します。

① 特論科目

すべての大学院生が履修する「基盤科目（必須科目）」と目的に応じて専門性の高度化を図ることのできる「専門科目（選択科目）」の2つの科目群から構成されます。

開講予定科目：【基盤科目】「基礎薬学特論」「臨床薬学特論」「研究実践法特論」「研究倫理特論」
 【専門科目】「創薬化学特論」、「生体機能分子解析学特論」、「応用生物学特論」、
 「薬理学特論」、「臨床医療特論」

② 特別演習科目

特別演習科目では、薬学分野の最先端の研究内容を模擬的・総合的に体験し、研究の方法論とプレゼンテーションのスキルを修得します。

開講予定科目：「薬学総合特別演習（必須）」「モデリング・シミュレーション特別演習（選択）」
 「高度分析機器特別演習（選択）」、「医療情報統計学特別演習（選択）」、「処方解析学特別演習（選択）」

③ 課題研究

研究能力の向上を目指し、研究室を中心にして研究指導を受けます。博士論文の作成につながるものです。創薬化学系、生体機能分子解析学系、応用生物学系、薬理学系、臨床医療系などの研究領域から約20件の課題研究で構成されます。

例：「薬剤耐性に関与する抗菌薬抵抗分子の構造・機能解析に関する研究」「生体におけるマスト細胞の生理的意義とその役割に関する研究」「がん化学療法に関わる臨床研究」「医薬品副作用の予測・予防に役立つ情報の構築」

→次ページへ続く

6. 学位の名称 博士（薬学）
7. 設置場所 金城学院大学 〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目 1723 番地
Tel: 052-798-0180(代表)
8. 入学定員 2人（収容定員8人）
9. 学生納付金 入学金 200,000円 授業料（年額）900,000円
10. 競合する大学・研究科・専攻等の名称
名城大学 大学院薬学研究科薬学専攻（博士課程）
愛知学院大学 大学院薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）
鈴鹿医療科学大学 大学院薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）

（注）上記の概要は現在計画中の予定であり、変更される場合があります。

金城学院大学大学院
「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」
(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【薬学部薬学科所属の在学生対象】

令和3年3月
株式会社 進研アド

薬学部薬学科所属の在学生対象 調査概要

1. 調査目的

2022年4月開設予定の金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」の設置構想に関して、在学生ニーズを把握する。

2. 調査概要

		在学生対象調査
調査対象		金城学院大学 薬学部 薬学科に所属する在学生 (薬学部 薬学科5年生、薬学部 薬学科4年生、 薬学部 薬学科3年生、薬学部 薬学科2年生、 薬学部 薬学科1年生)
調査方法		インターネット調査
調査 対象数	学生数	752人
	回収数	603人
	回収率	80.2%
調査時期		2021年1月27日(水)～2021年2月3日(水)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

在学生対象調査
<ul style="list-style-type: none">・ 学年・ 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」設置計画に対する興味・関心度・ 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への進学希望

薬学部薬学科所属の在学生対象 調査結果まとめ



薬学部薬学科所属の在学生対象 調査結果まとめ

※本調査は、金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」に対する需要を確認するための調査として設計しており、金城学院大学薬学部薬学科に所属する在学生である5年生計140名、4年生計158名、3年生計156名、2年生計154名、1年生計144名に調査を実施し、5年生計74名、4年生計123名、3年生計139名、2年生計132名、1年生計135名から回答を得た。

5年生の回答

- ・薬学部 薬学科5年生140名に配布、74名から回答を得た。
- ・金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」に対する興味・関心度を聞いたところ、「興味・関心を持った」と回答したのは6.8%であり、「少し興味・関心を持った」の回答とあわせると、37.8%の学生が興味・関心を持っていた。
- ・進学希望については、2.7%(2名)が「希望したいと思う」と回答しており、本構想における入学定員数(2名)を満たす進学希望が示された結果となった。

4年生の回答

- ・薬学部 薬学科4年生158名に配布、123名から回答を得た。
- ・金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」に対する興味・関心度を聞いたところ、「興味・関心を持った」と回答したのは4.9%であり、「少し興味・関心を持った」の回答とあわせると、52.8%の学生が興味・関心を持っていた。
- ・進学希望については、3.3%(4名)が「希望したいと思う」と回答しており、本構想における入学定員数(2名)の2倍が進学希望を示した結果となった。

薬学部薬学科所属の在学生対象 調査結果まとめ (参考)

3年生の回答

- ・薬学部 薬学科3年生156名に配布、139名から回答を得た。
- ・金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」に対する興味・関心度を聞いたところ、「興味・関心を持った」と回答したのは6.5%であり、「少し興味・関心を持った」の回答とあわせると、51.8%の学生が興味・関心を持っていた。
- ・進学希望については、7.2%(10名)が「希望したいと思う」と回答しており、本構想における入学定員数(2名)を大きく上回る進学希望を示した結果となった。

2年生の回答

- ・薬学部 薬学科2年生154名に配布、132名から回答を得た。
- ・金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」に対する興味・関心度を聞いたところ、「興味・関心を持った」と回答したのは3.8%であり、「少し興味・関心を持った」の回答とあわせると、47.7%の学生が興味・関心を持っていた。
- ・進学希望については、1.5%(2名)が「希望したいと思う」と回答しており、本構想における入学定員数(2名)を満たす進学希望が示された結果となった。

1年生の回答

- ・薬学部 薬学科1年生144名に配布、135名から回答を得た。
- ・金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」に対する興味・関心度を聞いたところ、「興味・関心を持った」と回答したのは8.1%であり、「少し興味・関心を持った」の回答とあわせると、62.2%の学生が興味・関心を持っていた。
- ・進学希望については、8.1%(11名)が「希望したいと思う」と回答しており、本構想における入学定員数(2名)を大きく上回る進学希望を示した結果となった。

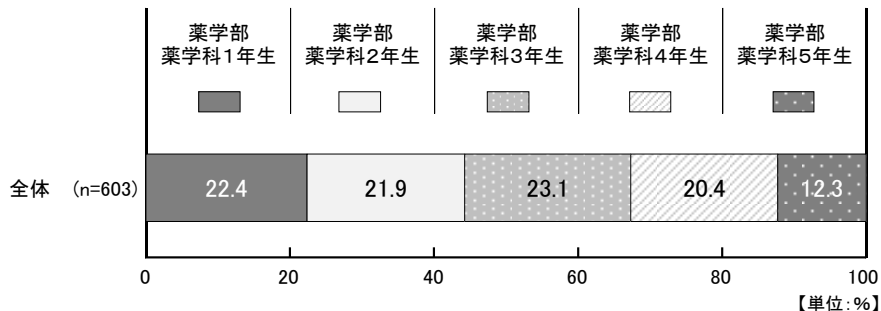
薬学部薬学科所属の在学生対象 調査結果



在学生 集計結果

■ 学年

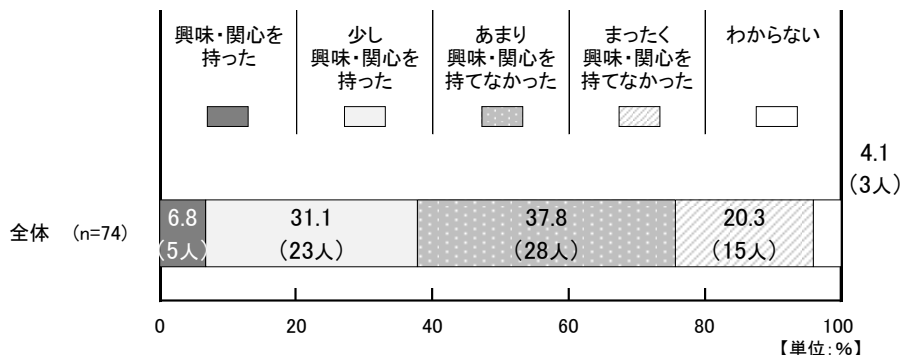
①. あなたの学年を教えてください。(選択必須)



金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度/進学希望(5年生)

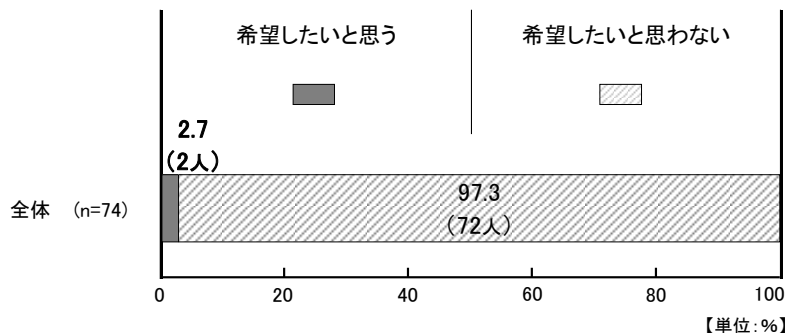
■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度

②. 薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)の設置計画について、どのように感じましたか。(選択必須)



■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への 進学希望

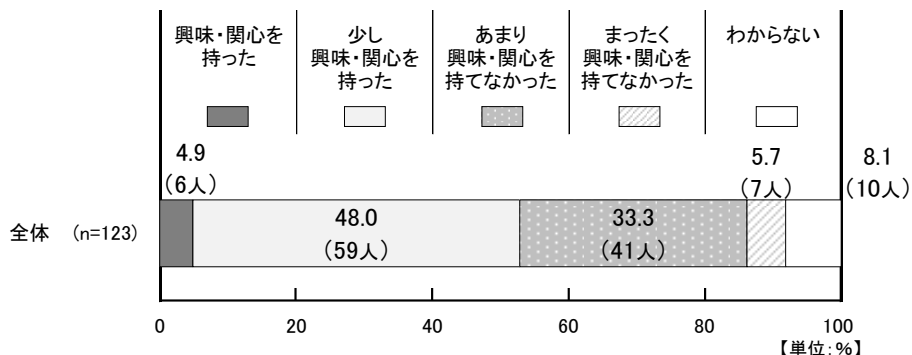
③. 薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)への進学を希望されますか。(選択必須)



金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度/進学希望(4年生)

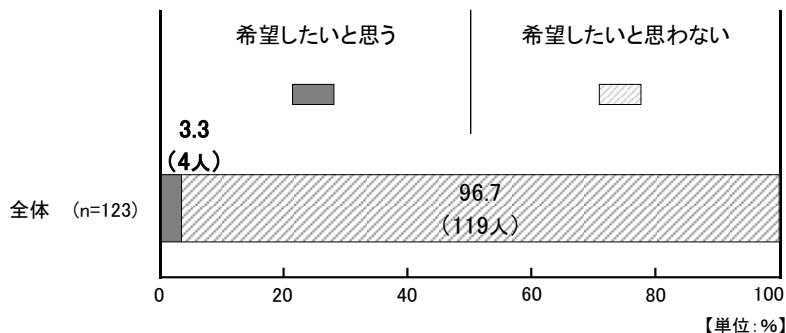
■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度

②. 薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)の設置計画について、どのように感じましたか。(選択必須)



■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への 進学希望

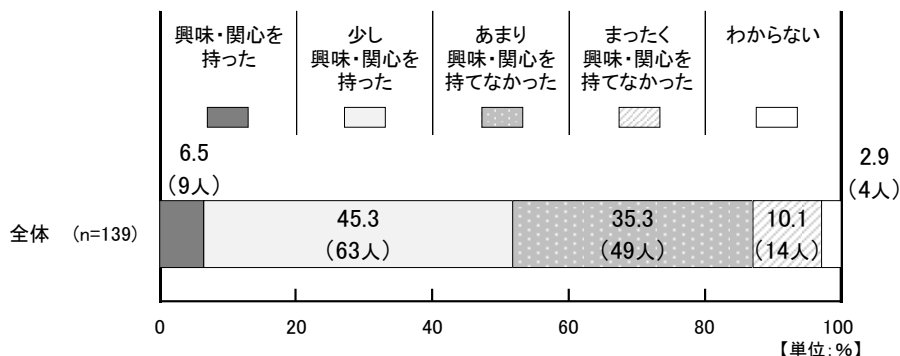
③. 薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)への進学を希望されますか。(選択必須)



金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度/進学希望(3年生)

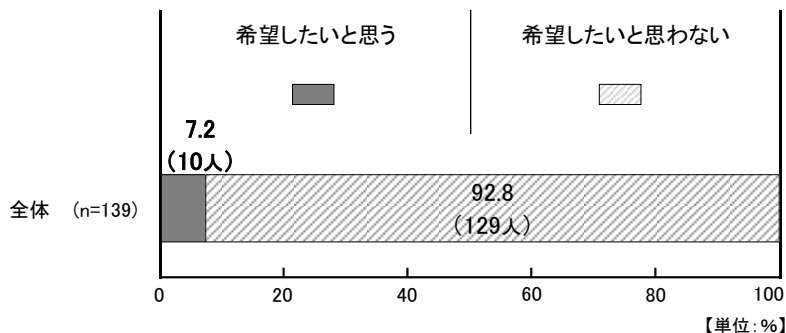
■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度

②. 薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)の設置計画について、どのように感じましたか。(選択必須)



■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への 進学希望

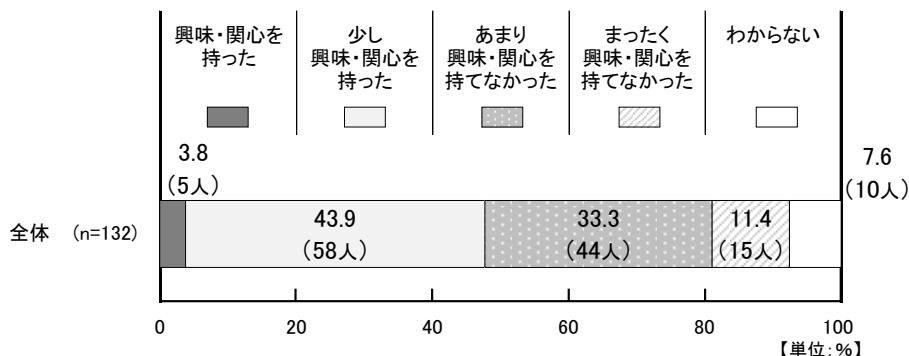
③. 薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)への進学を希望されますか。(選択必須)



金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度/進学希望(2年生)

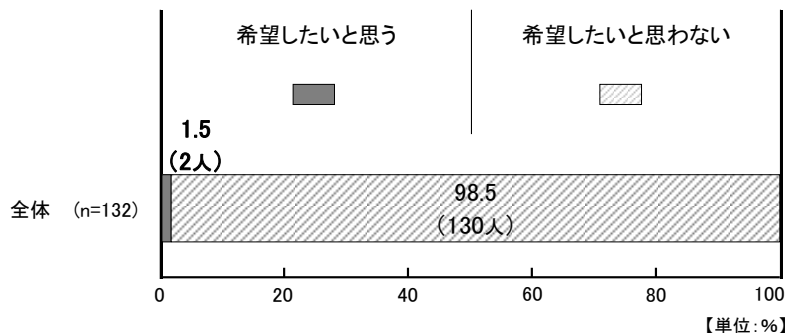
■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度

②. 薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)の設置計画について、どのように感じましたか。(選択必須)



■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への 進学希望

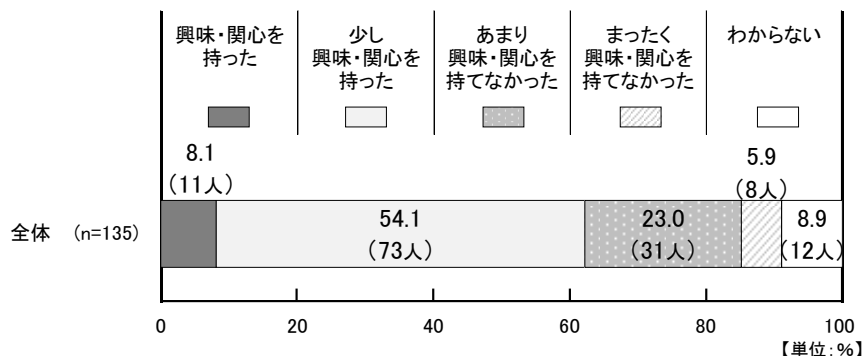
③. 薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)への進学を希望されますか。(選択必須)



金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度/進学希望(1年生)

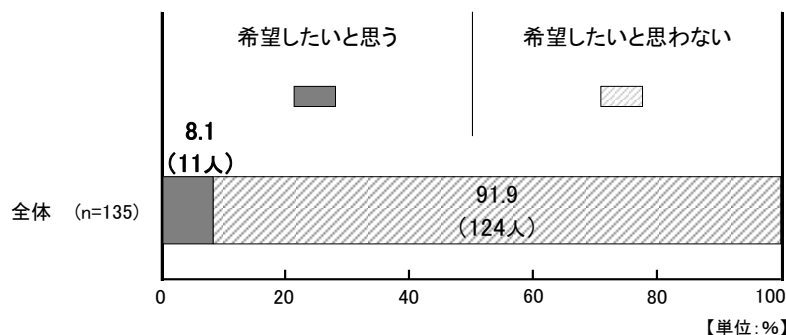
■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度

②. 薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)の設置計画について、どのように感じましたか。(選択必須)



■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への 進学希望

③. 薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)への進学を希望されますか。(選択必須)



卷末資料 調查票



調査票

金城学院大学 薬学研究科[在学学生用アンケート]調査票

①あなたの学年を教えてください。(選択必須)

1. 1年 2. 2年 3. 3年 4. 4年 5. 5年

②薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)の設置計画について、どのように感じましたか。(選択必須)

1. 興味・関心を持った
2. 少し興味・関心を持った
3. あまり興味・関心を持てなかった
4. まったく興味・関心を持てなかった
5. わからない

③薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)への進学を希望されますか。(選択必須)

1. 希望したいと思う
2. 希望したいと思わない

④薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)に関するご要望があればご記入ください。

金城学院大学大学院
「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」
(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【現職薬剤師対象】

令和3年3月
株式会社 進研アド

現職薬剤師対象 調査概要

1. 調査目的

2022年4月開設予定の金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」新設構想に関して、主な進学者として想定される現職の薬剤師の進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

		薬剤師対象調査
調査対象		病院・薬局勤務の現職薬剤師
調査方法		病院への郵送調査
調査対象数	依頼数	1,629人
	回収数	95人
	回収率	5.8%
調査時期		2021年1月6日(水)～2021年1月26日(火)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

薬剤師対象調査
・性別
・年齢
・勤務地
・勤務先
・保有資格
・薬剤師の実務経験
・大学院への進学意向
・金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」の特色に対する魅力度
・金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への受験意向
・金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への入学意向
・金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への希望入学時期

現職薬剤師対象 調査結果まとめ



現職薬剤師対象 調査結果まとめ

回答者の属性

※本調査は、金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」に対する現職薬剤師からの進学ニーズを確認するための調査として設計。金城学院大学大学院の主な学生募集エリアである岐阜県、愛知県、三重県の病院・薬局の現職薬剤師に調査を実施し、95人から回答を得た。

- 回答者の性別は「女性」が100.0%である。
- 回答者の年齢は「20代」「30代」が同率で28.4%である。次いで「40代」が26.3%である。
- 回答者が勤務する病院の所在地は、金城学院大学大学院の所在地である「愛知県」が71.6%を占めている。次いで「三重県」が14.7%、「岐阜県」が11.6%である。
- 回答者の勤務先は、「病院」が98.9%を占めている。次いで「薬局」が1.1%である。
- 回答者の保有資格は「薬剤師」が100.0%である。
- 回答者の薬剤師としての実務経験年数は「1年～5年未満」が28.4%と最も高い。次いで「20年～30年未満」が18.9%、「5年～10年未満」が17.9%である。平均年数は「12.5年」であった。

大学院への進学意向

- 大学院へ進学してみたいかを尋ねたところ、「ぜひ進学したいと思う」と答えた回答者は1.1%、「機会があれば進学したいと思う」と答えた回答者は36.8%と、4割に近い回答者が仕事をしながらも大学院への進学を希望していることがうかがえる。

現職薬剤師対象 調査結果まとめ

金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 の特色に対する魅力度

- 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」の特色である「**A. 体系的に区分した教育課程**」(「基盤科目(必須科目)」と「専門科目(選択科目)」から構成される「特論科目」、薬学分野における最先端の研究内容を模擬的・総合的に体験し、研究の方法論とプレゼンテーションスキルを修得することができる「特別演習科目」、博士論文を作成する能力を養うことができる「課題研究」など、体系的に区分した教育課程を提供し、1年次から順次性をもって学修を進めることができます。)」については、66.3%の回答者が魅力を感じると回答。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 への受験意向／入学意向

- 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」を「受験してみたいと思う」と答えた回答者は、15.8% (15人)である。
- 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」を「受験してみたいと思う」と答えた15人のうち、金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」に「入学したいと思う」と回答した人は、80.0% (12人)である。

現職薬剤師対象 調査結果まとめ

金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への 入学意向者数

※ここからは、金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」に対して、「受験してみたいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人を入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における入学意向は、12.6%(95人中、**12人**)。入学意向者数は予定している入学定員数2名を大きく上回っている。

<属性別>

◇勤務地別

- 勤務地が「愛知県」である回答者の入学意向は13.2%(68人中、**9人**)と、予定している入学定員数を4倍以上上回る入学意向者がみられた。勤務地が「三重県」である回答者の入学意向は14.3%(14人中、**2人**)と、予定している入学定員数を満たす入学意向者がみられた。

◇勤務先別

- 勤務先が「病院」である回答者の入学意向は、11.7%(94人中、**11人**)と、予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。

◇保有資格別

- 「薬剤師」の資格を保有している回答者の入学意向は、12.6%(95人中、**12人**)と、予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。

◇薬剤師の実務経験別

- 薬剤師としての実務経験年数が「1年未満」から「20年～30年未満」までの回答者について、一定の入学意向がみられた。

現職薬剤師対象 調査結果まとめ

金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への入学希望時期

- 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」を「受験してみたいと思う」と答えた15人のうち、「入学したいと思う」と答えた12人に、入学希望時期を聞いたところ、「2022年4月の入学を希望する」と回答した人は、41.7% (12人中、5人)である。また、「2024年4月以降の入学を希望する」と回答した人は、58.3% (12人中、7人)である。

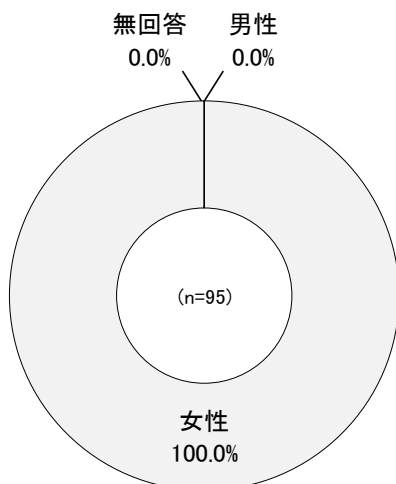
現職薬剤師対象 調査結果

回答者の属性(性別/年齢/勤務地)

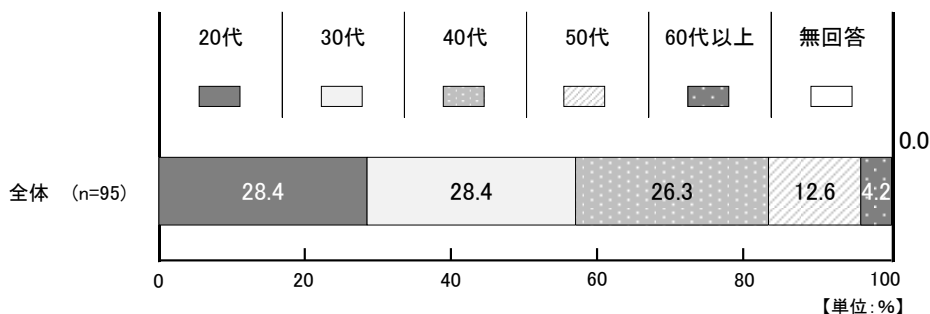
■回答者の属性

Q1. あなたご自身について教えてください。

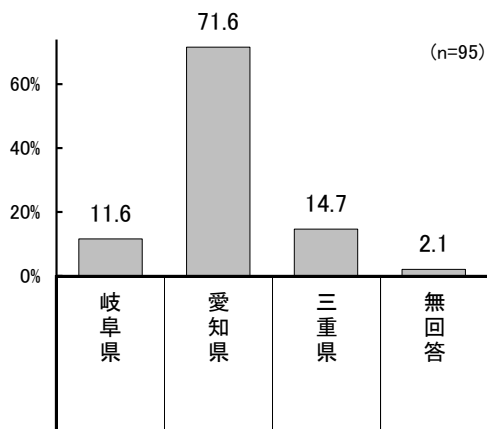
◆性別



◆年齢



◆勤務地

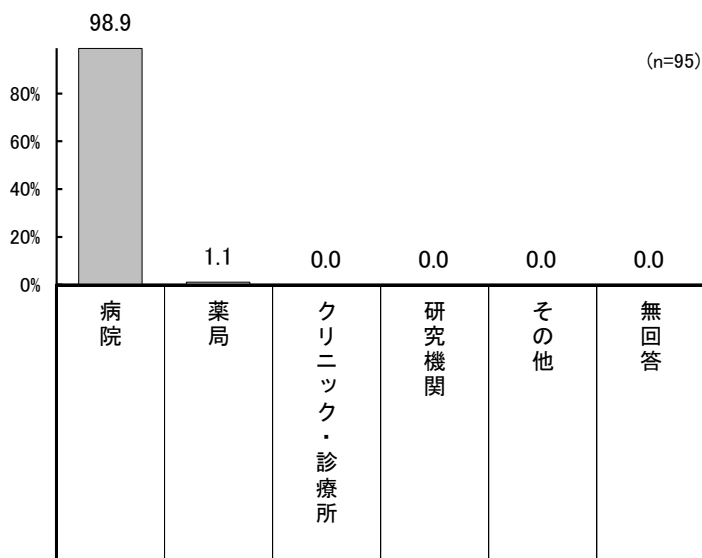


回答者の属性(勤務先/保有資格)

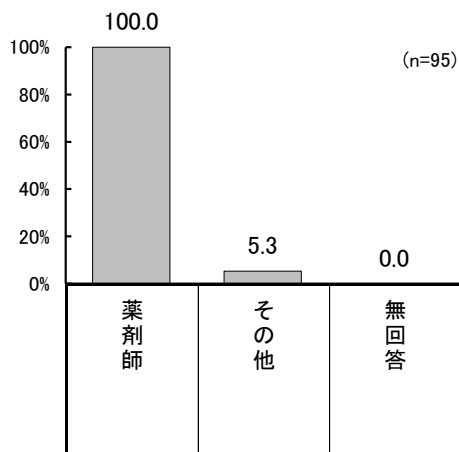
■回答者の属性

Q1. あなたご自身について教えてください。

◆勤務先



◆保有資格(複数回答)

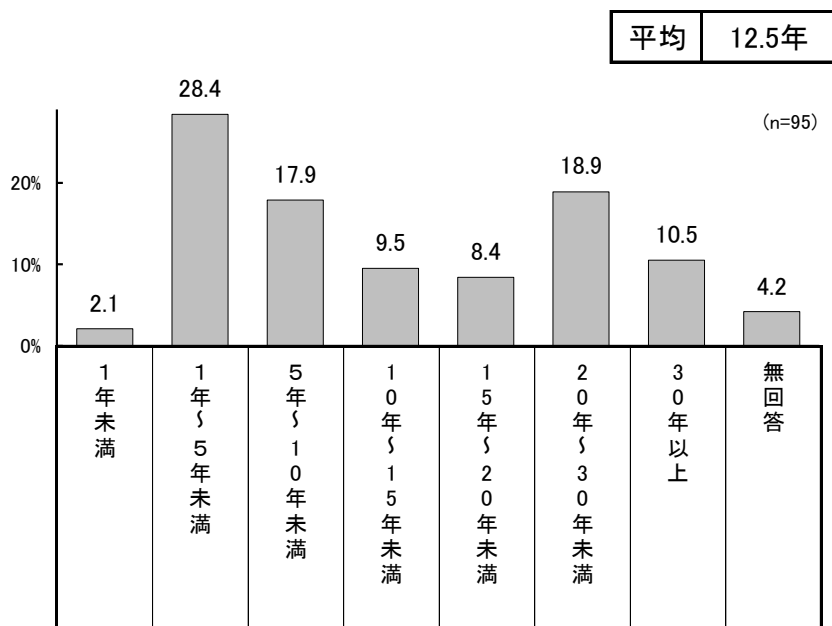


回答者の属性(薬剤師の実務経験)

■回答者の属性

Q1. あなたご自身について教えてください。

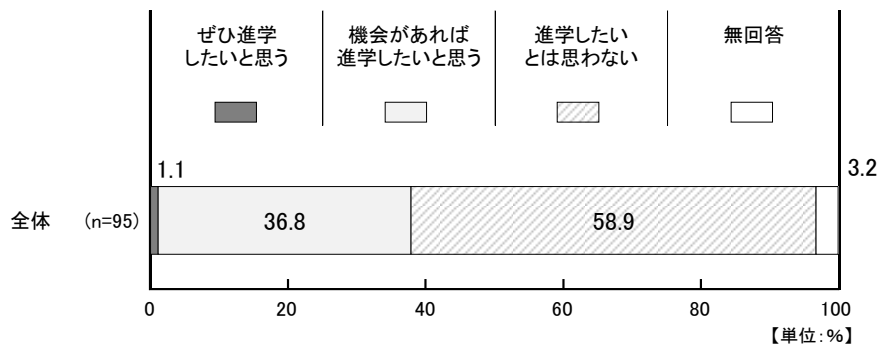
◆薬剤師の実務経験



大学院への進学意向

■大学院への進学意向

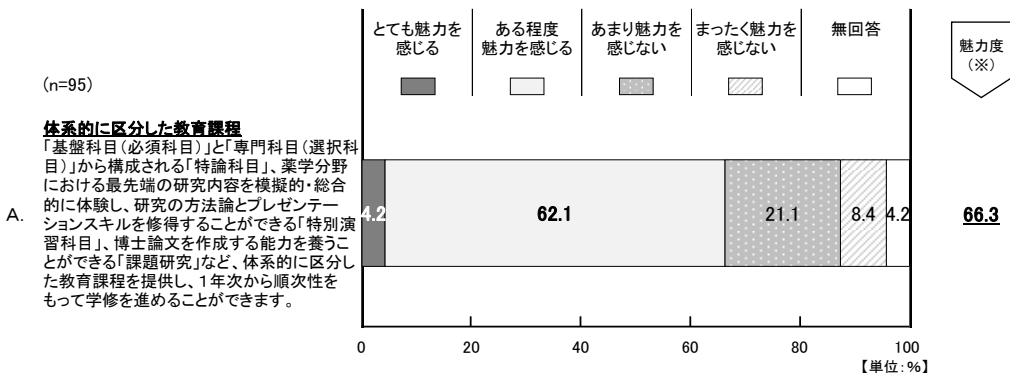
Q2. あなたは、大学院に進学したいと思いますか。現在のあなたのお気持ちに一番近いもの1つに○をつけてください。
(1つだけ)



金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻 (博士課程)」の特色に対する魅力度

■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」の特色に対する魅力度

Q3. 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。このような特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(1つだけ)(大学院への進学を希望されていない方も進学を希望する場合を想像してお答えください。)



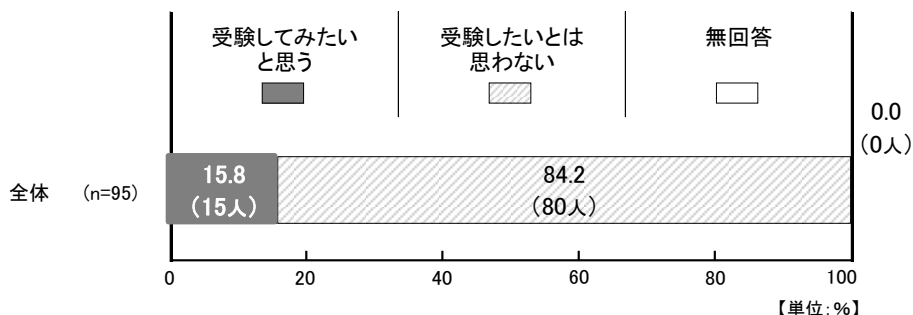
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻 (博士課程)」への受験意向／入学意向

■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への受験意向

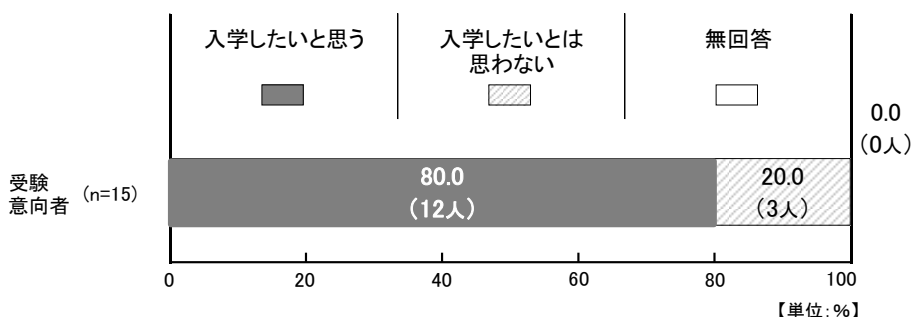
Q4. あなたは、Q3のような特色をもつ金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験してみたいと思う」と答えた15人のみ抽出

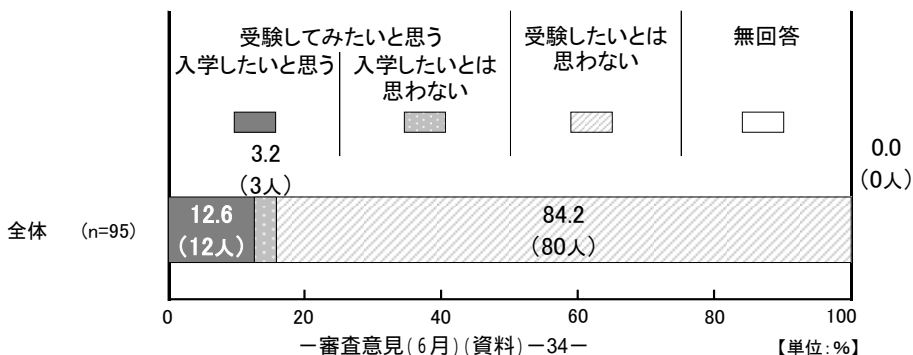
■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への入学意向

Q5. あなたが、もし金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置構想中)を受験して合格したら、入学したいと思いますか。あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験意向(Q4)」と「入学意向(Q5)」を
かけあわせて集計(母数は全回答者)

■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への 受験意向別入学意向



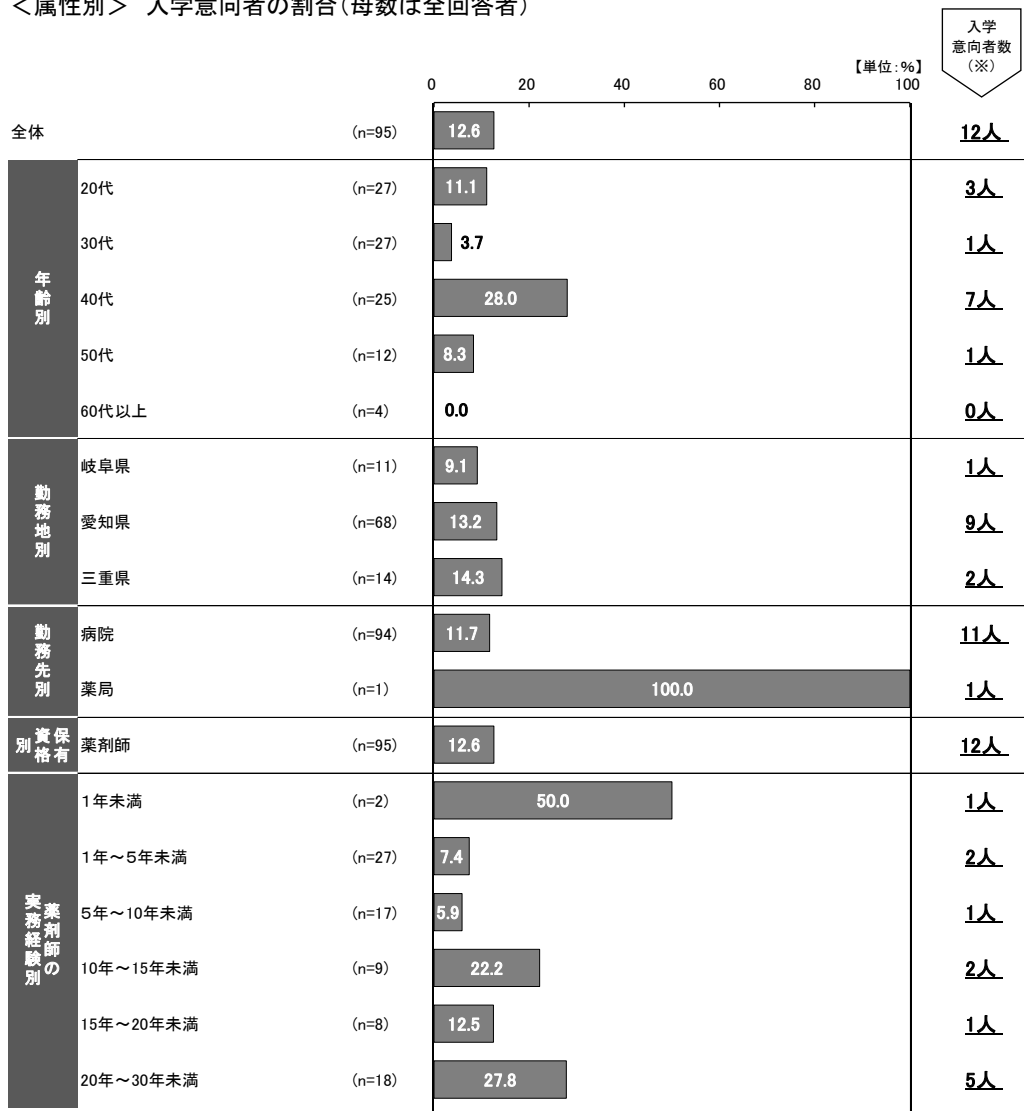
金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻 (博士課程)」への受験意向別入学意向<属性別>

■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への受験意向別入学意向<属性別>

Q5. あなたが、もし金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置構想中)を受験して合格したら、入学したいと思いますか。あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

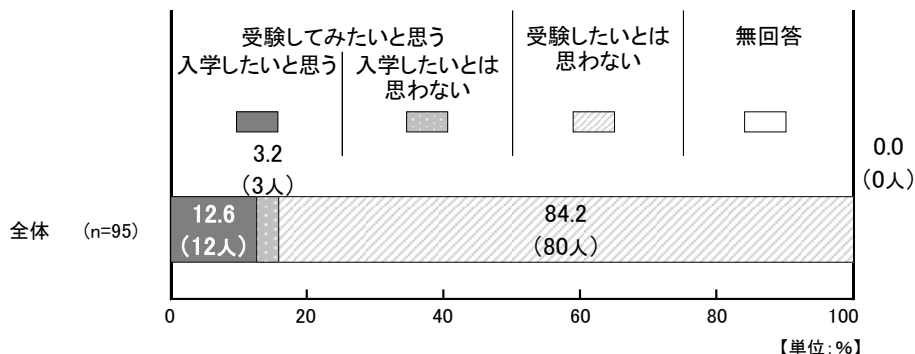
※金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」に対して「受験してみたいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人を入学意向者と定義する。

<属性別> 入学意向者の割合(母数は全回答者)



金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻 (博士課程)」への入学希望時期

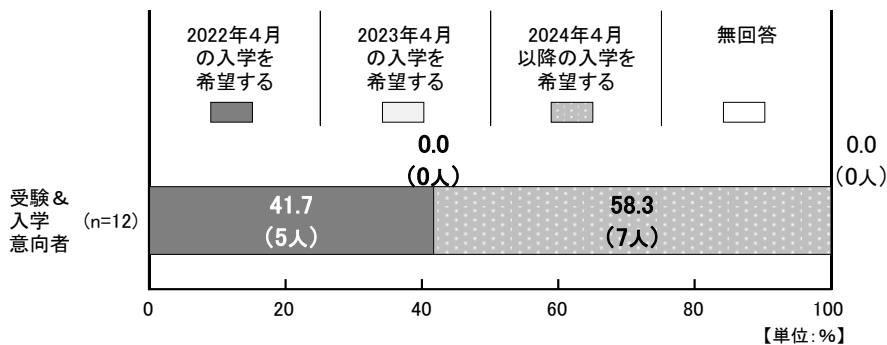
■(再掲)金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への受験意向別入学意向



「受験してみたいと思う」かつ「入学したいと思う」と答えた12人のみ抽出

■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」への入学希望時期

Q6. Q5で、金城学院大学「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置構想中)に「入学したいと思う」と回答した方にお聞きします。あなたは、金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置構想中)に入学するとしたら、いつごろの入学を希望しますか。あなたのお気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



卷末資料 調查票



現職薬剤師対象 調査票

金城学院大学では、2022年（令和4年）4月に、
新しく大学院「薬学研究科 医療薬学専攻（博士課程）」（仮称）
を設置することを構想しています。

※ ここからは、別紙「金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻（博士課程）」の設置計画の概要」をご覧ください。 ※

- Q3. 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻（博士課程）」（仮称、設置構想中）には、
以下のような特色があります。このような特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。（1つだけ）
（大学院への進学を希望されていない方も進学を希望する場合を想像してお答えください。）

		とても 魅力を 感じる	ある程度 魅力を 感じる	あまり 魅力を 感じない	まったく 魅力を 感じない
	→	1	②	3	4
A	→	1	2	3	4

体系的に区分した教育課程
「基礎科目（必須科目）」と「専門科目（選択科目）」から構成される「特論科目」、薬学分野における最先端の研究内容を模擬的・総合的に体験し、研究の方法論とプレゼンテーションスキルを修得することができる「特別演習科目」、博士論文を作成する能力を養うことができる「課題研究」など、体系的に区分した教育課程を提供し、1年次から順次性をもって学修を進めることができます。

- Q4. あなたは、Q3のような特色をもつ金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻（博士課程）」
（仮称、設置構想中）を受験してみたいと思いませんか。

あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。（1つだけ）
1. 受験してみたいと思う
2. 受験したいとは思わない

- Q5. あなたが、もし金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻（博士課程）」（仮称、設置構想中）
を受験して合格したら、入学したいと思いますか。

あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。（1つだけ）
1. 入学したいと思う
2. 入学したいとは思わない

- Q6. Q5で、金城学院大学「薬学研究科 医療薬学専攻（博士課程）」（仮称、設置構想中）
に「入学したいと思う」と回答した方にお聞きます。
あなたは、金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻（博士課程）」（仮称、設置構想中）
に入学するとしたら、いつごろの入学を希望しますか。

あなたのお気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。（1つだけ）
1. 2022年4月の入学を希望する
2. 2023年4月の入学を希望する
3. 2024年4月以降の入学を希望する

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ***

金城学院大学「看護学部 看護学科」(仮称)
金城学院大学大学院
「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」
(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【医療施設対象】

令和3年3月
株式会社 進研アド

医療施設対象 調査概要

1. 調査目的

2022年4月開設予定の金城学院大学「看護学部 看護学科」、金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」新設構想に関して、医療施設のニーズを把握する。

2. 調査概要

		医療施設対象調査
調査対象		医療施設の採用担当者
調査エリア		愛知県、岐阜県、三重県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	950施設
	回収数(回収率)	172施設(18.1%)
調査時期		2021年1月6日(水)～2021年1月26日(火)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

医療施設対象調査
<ul style="list-style-type: none">・人事採用への関与度・本社所在地・業種・従業員数・正規職員・社員の平均採用人数・本年度の採用予定数・看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数・金城学院大学の各学部・学科および研究科の特色に対する魅力度・金城学院大学の各学部・学科および研究科の社会的必要性・金城学院大学の各学部・学科卒業生および研究科修了生に対する採用意向・金城学院大学の各学部・学科卒業生および研究科修了生の毎年の採用想定人数

医療施設対象 調査結果まとめ



医療施設対象 調査結果まとめ

回答施設(回答者)の属性

※本調査は、金城学院大学「看護学部 看護学科」、金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」に対する人材需要を確認するための調査として設計。金城学院大学「看護学部 看護学科」、金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」の卒業生就職先として想定される医療施設の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、172施設から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は54.1%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が30.2%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答施設の本社所在地は、金城学院大学の所在地である「愛知県」が80.8%を占め、最も多い。次いで「岐阜県」が10.5%、「三重県」が8.1%である。
- 回答施設の業種としては「病院」が52.9%と最も多く、次いで「診療所・クリニック」が44.8%、「その他」が2.3%である。
- 回答施設の従業員数は、「50名未満」が45.3%で最も多い。次いで「100名～500名未満」が32.6%、「50名～100名未満」「500名～1,000名未満」が同率で7.6%である。

回答施設の採用状況(過去3か年)／本年度の採用予定数

- 回答施設の平均的な正規職員・社員の採用人数は、「1名～5名未満」が36.6%で最も多い。次いで「10名～20名未満」が12.8%、「5名～10名未満」が12.2%である。毎年、正規職員・社員を採用している施設がほとんどである。
- 回答施設の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が46.5%で最も多い。次いで「未定」が30.8%、「増やす」が14.5%である。採用予定数が「未定」という施設も一定数みられるものの、回答施設の多くは昨年と同等かそれ以上の採用が予定されている様子である。

医療施設対象 調査結果まとめ

看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

- 看護師の現在の勤務者数は、「1名～5名未満」が32.6%で最も多い。次いで「100名以上」が23.8%、「50名～100名未満」が16.3%である。総数は18,892人で、平均は112.5人である。
- 看護師の今後5年間の採用希望人数は、「1名～5名未満」が27.3%で最も多い。次いで「0名」が15.7%、「10名～20名未満」が10.5%である。総数は6,255人で、平均は42.6人である。
- 保健師の現在の勤務者数は、「0名」が72.7%で最も多い。次いで「1名～5名未満」が10.5%、「5名～10名未満」が4.7%である。総数は189人で、平均は1.2人である。
- 保健師の今後5年間の採用希望人数は、「0名」が75.6%で最も多い。次いで「1名～5名未満」が7.6%、「10名～20名未満」が0.6%である。総数は29人で、平均は0.2人である。
- 薬剤師の現在の勤務者数は、「0名」が37.8%で最も多い。次いで「1名～5名未満」が27.9%、「5名～10名未満」が11.6%である。総数は1,132人で、平均は7.1人である。
- 薬剤師の今後5年間の採用希望人数は、「0名」が49.4%で最も多い。次いで「1名～5名未満」が22.1%、「5名～10名未満」が5.2%である。総数は373人で、平均は2.6人である。

医療施設対象 調査結果まとめ

<看護学部 看護学科>

金城学院大学「看護学部 看護学科」の特色に対する魅力度

- 金城学院大学「看護学部 看護学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目で8割を超える。
- 金城学院大学「看護学部 看護学科」の特色の中で最も魅力度が高いのは、「A. **看護実践力が養われる環境** 充実したシミュレーション教育環境、看護実践教育センター(仮称)によるセルフトレーニングへの支援などによりアクティブラーニングを促進し、高い看護実践力を養うことができます。」(93.0%)であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も36.0%で最も高い。

次に魅力度が高いのは、「C. **きめ細かな教育サポート** 『基礎ゼミナール』や『卒業研究』など、ゼミスタイルの科目があるほか、病院などの臨地実習において臨地実習指導者と大学教員による実習指導体制を組むなど、少人数によるきめ細かな教育サポートを行います。また学生相談室やアドバイザー制度など、学生個々の生活全般もきめ細かく支援します。」(90.7%)、「B. **ICTを活用した教育** タブレットタイプのテキストを使用するほか、動画やクラウド型教育支援システムmanaba(マナバ)を導入して双方向型の授業を実現させるなど、ICT教育を充実させ、医療のICT化に対応できる能力を養います。」「D. **総合大学ならではの幅広い交流** 現在、ワンキャンパスに5学部13学科・コースを有する女子総合大学だからこそ、他分野を学ぶ学生との交流も自然に生まれ、多様な価値観にふれることができます。また同じ医療関連を学ぶ薬学部や生活環境学部、人間科学部と連携した授業・活動も計画しています。」(同率で81.4%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した施設の合計値

医療施設対象 調査結果まとめ

<看護学部 看護学科>

金城学院大学「看護学部 看護学科」の社会的必要性

- 金城学院大学「看護学部 看護学科」の社会的必要性については、92.4% (159施設)が「必要だと思う」と回答しており、多くの施設からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」 卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- 金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」卒業生を「採用したいと思う」(※看護師として採用)と答えた施設は、82.0%(**141施設**)である。
- 金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた141施設へ金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」卒業生の採用(※看護師として採用)を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**299名**で、予定している入学定員数100名を2倍以上上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

<属性別>

◇本社所在地別

- 「愛知県」に所在地のある施設からの採用意向は、79.9%(139施設中、**111施設**)。採用想定人数の合計は**227人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

◇業種別

- 「病院」からの採用意向は、91.2%(91施設中、**83施設**)。採用想定人数の合計は**237人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

医療施設対象 調査結果まとめ

<看護学部 看護学科(看護師資格所有者)>

◇勤務者数別(看護師)

- 看護師の勤務者が「1名～5名未満」の施設からの採用意向は、73.2% (56施設中、**41施設**)。採用想定人数の合計は**42人**である。「5名～100名未満」の施設からの採用意向は、85.1% (67施設中、**57施設**)。採用想定人数の合計は**99人**である。「100名以上」の施設からの採用意向は、95.1% (41施設中、**39施設**)。採用想定人数の合計は**151人**で、予定している入学定員数を上回っている。看護師の勤務者が少ない施設からも多い施設からも、採用意向の割合は高いといえる。

◇採用希望数別(看護師)

- 看護師の採用希望数が「1名～5名未満」の施設からの採用意向は、85.1% (47施設中、**40施設**)。採用想定人数の合計は**47人**である。「5名～100名未満」の施設からの採用意向は、96.4% (56施設中、**54施設**)。採用想定人数の合計は**135人**で、予定している入学定員数を上回っている。「100名以上」の施設からの採用意向は、94.1% (17施設中、**16施設**)。採用想定人数の合計は**80人**である。このことから、採用希望数を1名以上と回答している施設において、金城学院大学「看護学部 看護学科」卒業生の人材需要があることがうかがえる。

◇社会的必要性別【必要だと思う】

- 金城学院大学「看護学部 看護学科」が社会的に必要だと思うと回答した施設からの採用意向は、85.5% (159施設中、**136施設**)。採用想定人数の合計は**293人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

医療施設対象 調査結果まとめ

<看護学部 看護学科(保健師資格所有者)>

金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」 卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- 金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」卒業生を「採用したいと思う」(※保健師として採用)と答えた施設は、18.6% (**32施設**)である。
- 金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた32施設へ金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」卒業生の採用(※保健師として採用)を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**33名**で、一定の人材需要があることがうかがえる。

<属性別>

◇本社所在地別

- 「愛知県」に所在地のある施設からの採用意向は、14.4% (139施設中、**20施設**)。採用想定人数の合計は**15人**で、一定の採用意向がみられる。

◇業種別

- 「病院」からの採用意向は、20.9% (91施設中、**19施設**)。採用想定人数の合計は**25人**で、一定の採用意向がみられる。

◇勤務者数別(保健師)

- 保健師の勤務者が「0名」の施設からの採用意向は、13.6% (125施設中、**17施設**)。採用想定人数の合計は**14人**である。「1名～5名未満」の施設からの採用意向は、38.9% (18施設中、**7施設**)。採用想定人数の合計は**5人**である。「5名以上」の施設からの採用意向は、41.7% (12施設中、**5施設**)。採用想定人数の合計は**6人**である。保健師の勤務者が少ない施設からも多い施設からも、一定の採用意向がみられる。

◇採用希望数別(保健師)

- 保健師の採用希望数が「1名以上」の施設からの採用意向は、71.4% (14施設中、**10施設**)。採用想定人数の合計は**11人**で、一定の採用意向がみられる。

◇社会的必要性別【必要だと思う】

- 金城学院大学「看護学部 看護学科」が社会的に必要だと思うと回答した施設からの採用意向は、18.9% (159施設中、**30施設**)。採用想定人数の合計は**32人**で、一定の採用意向がみられる。

医療施設対象 調査結果まとめ

<薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)>

金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」の特色に対する魅力度

- 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」の特色である「E. 体系的に区分した教育課程 『基盤科目(必須科目)』と『専門科目(選択科目)』から構成される『特論科目』、薬学分野における最先端の研究内容を模擬的・総合的に体験し、研究の方法論とプレゼンテーションスキルを修得することができる『特別演習科目』、博士論文を作成する能力を養うことができる『課題研究』など、体系的に区分した教育課程を提供し、1年次から順次性をもって学修を進めることができます。」の魅力度は83.1%である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した施設の合計値

金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」の社会的必要性

- 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」の社会的必要性については、81.4%(140施設)が「必要だと思う」と回答しており、多くの施設からこれからの社会にとって必要な研究科・専攻であると評価されていることがうかがえる。

金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」修了生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」修了生を「採用したいと思う」(※薬剤師として採用)と答えた施設は、43.0%(74施設)である。
- 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」の修了生を「採用したいと思う」と答えた74施設へ金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」修了生の採用(※薬剤師として採用)を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は74名で、予定している入学定員数2名を大きく上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

医療施設対象 調査結果まとめ

<薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)>

<属性別>

◇本社所在地別

- ・「岐阜県」に所在地のある施設からの採用意向は、77.8% (18施設中、**14施設**)。採用想定人数の合計は**13人**である。「愛知県」に所在地のある施設からの採用意向は、36.0% (139施設中、**50施設**)。採用想定人数の合計は**50人**である。「三重県」に所在地のある施設からの採用意向は、64.3% (14施設中、**9施設**)。採用想定人数の合計は**11人**と、いずれも予定している入学定員数を大きく上回っている。

◇業種別

- ・「病院」からの採用意向は、68.1% (91施設中、**62施設**)。採用想定人数の合計は**67人**で、予定している入学定員数を大きく上回っている。また、「診療所・クリニック」からの採用意向は、11.7% (77施設中、**9施設**)。採用想定人数の合計は**6人**で、予定している入学定員数の3倍である。

◇従業員数別

- ・従業員の規模にかかわらず、一定の採用意向があり、採用想定人数の合計も予定している入学定員数を上回っている。

◇勤務者数別(薬剤師)

- ・薬剤師の勤務者が「1名～5名未満」の施設からの採用意向は、68.8% (48施設中、**33施設**)。採用想定人数の合計は**26人**で、予定している入学定員数を大きく上回っている。「5名以上」の施設からの採用意向は、69.6% (46施設中、**32施設**)。採用想定人数の合計は**42人**で、予定している入学定員数を大きく上回っている。薬剤師の勤務者が少ない施設からも多い施設からも、採用意向の割合は高いといえる。

医療施設対象 調査結果まとめ

<薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)>

◇採用希望数別(薬剤師)

- 薬剤師の採用希望数が「1名～5名未満」の施設からの採用意向は、71.1%(38施設中、**27施設**)。採用想定人数の合計は**24人**、「5名以上」の施設からの採用意向は、90.5%(21施設中、**19施設**)。採用想定人数の合計は**30人**で、ともに予定している入学定員数を大きく上回っている。このことから、採用希望数を1名以上と回答している施設の中で金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」修了生の人材需要があることがうかがえる。

◇社会的必要性別【必要だと思う】

- 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」が社会的に必要なと思うと回答した施設からの採用意向は、51.4%(140施設中、**72施設**)。採用想定人数の合計は**72人**で、予定している入学定員数を大きく上回っている。

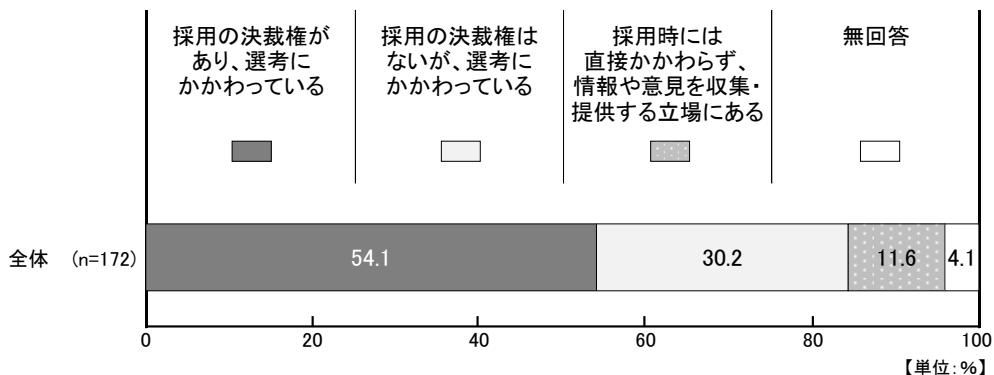
医療施設対象 調査結果



回答施設(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

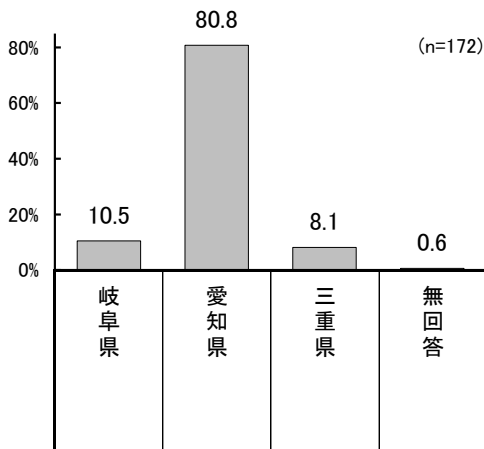
■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



■本社所在地

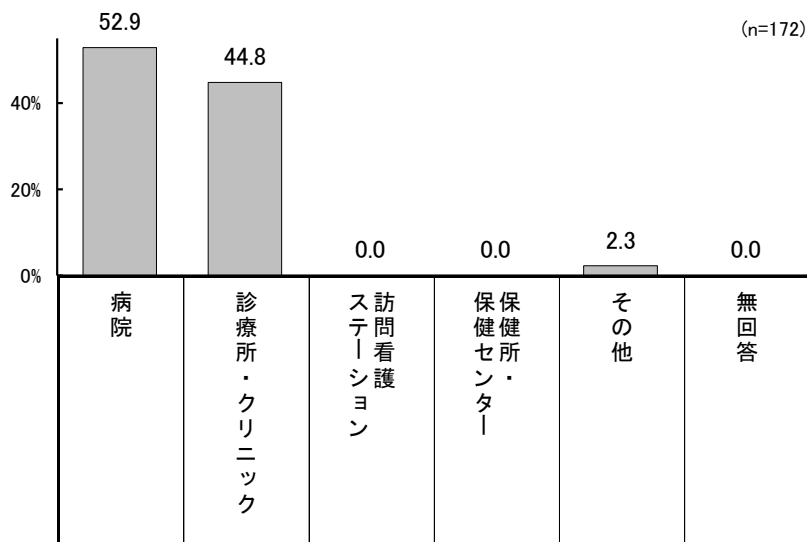
Q2. 貴院・貴団体の所在地について、都道府県名をお教えてください。



回答施設(回答者)の属性(業種/従業員数)

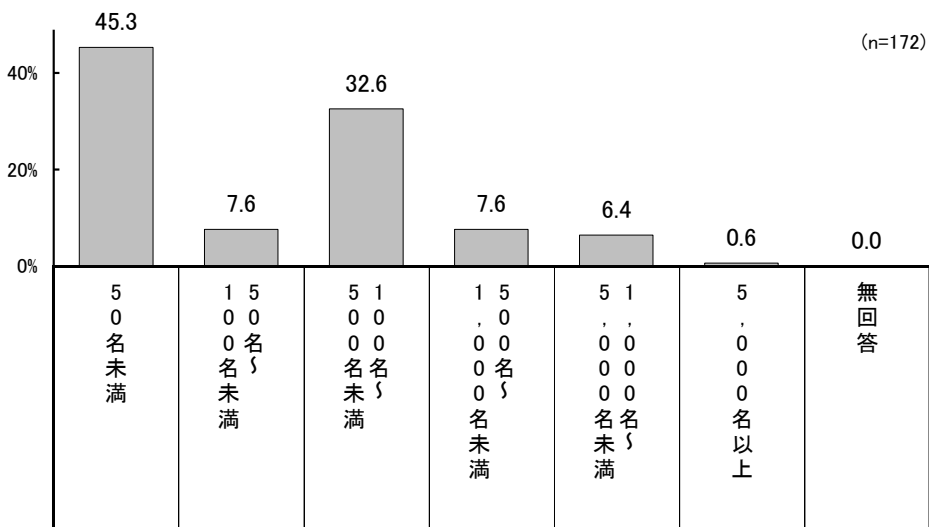
■業種

Q3. 貴院・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



■従業員数

Q4. 貴院・貴団体の従業員数(正規職員・社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



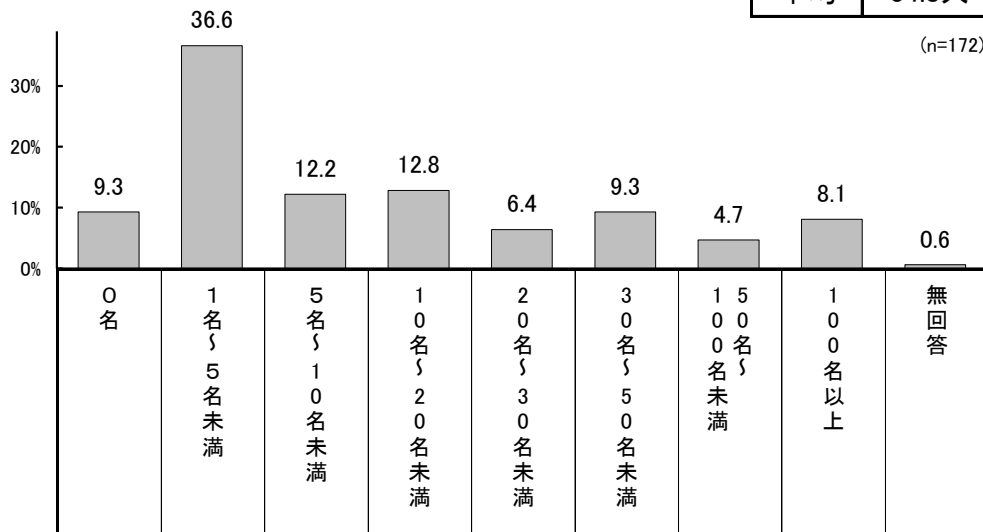
正規職員・社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

■正規職員・社員の平均採用人数

Q5. 貴院・貴団体の過去3か年の平均的な正規職員・社員の採用数について、お教えてください。

総数	5,953人
平均	34.8人

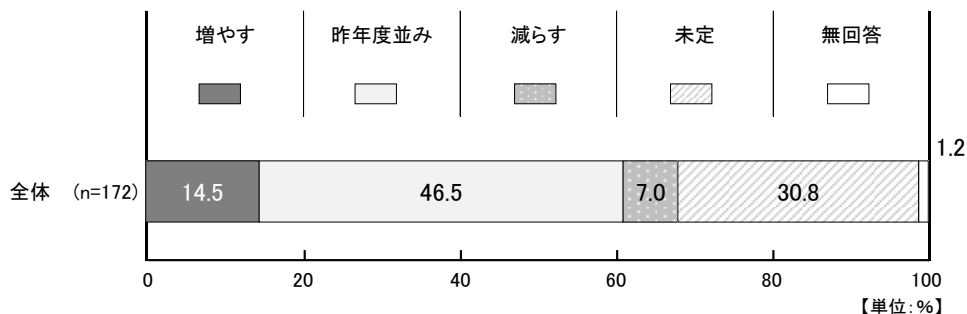
(n=172)



※総数は、平均的な正規職員・社員採用人数の合計値

■本年度の採用予定数

Q6. 貴院・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



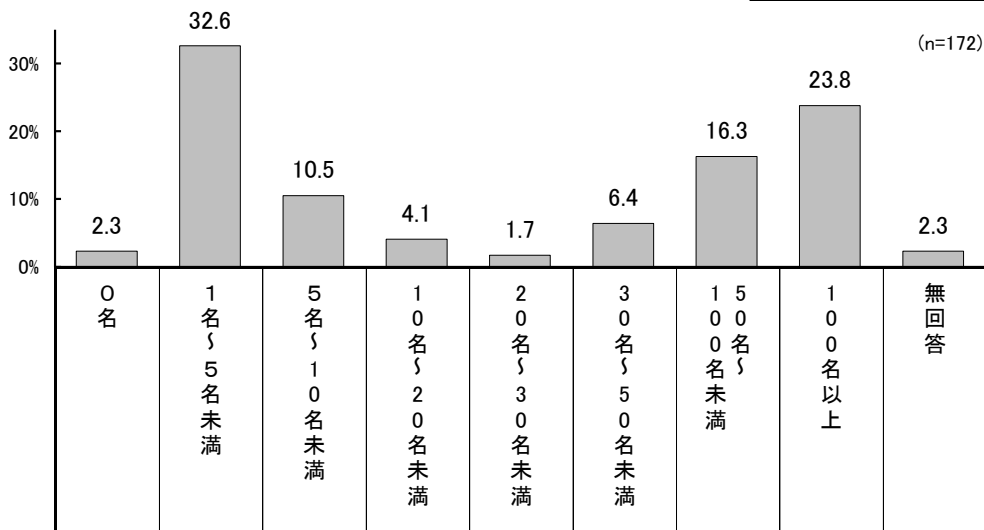
看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

■看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

Q7. 貴院・貴団体に、(1)～(3)現在、看護師・保健師・薬剤師として勤務されている方の人数、
 (4)～(6)今後5年間で看護師・保健師・薬剤師として新たに採用したいと思う人数を、それぞれ教えてください。
 (それぞれ、[]内に人数を記入)

(1)看護師の現在の勤務者数

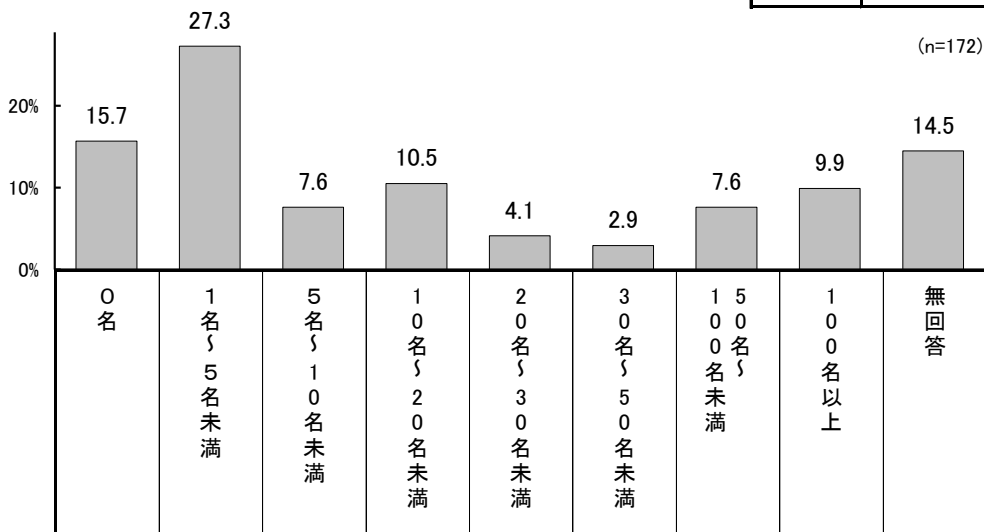
総数	18,892人
平均	112.5人



※総数は、現在の勤務者数の合計値

(4)看護師の今後5年間の採用希望人数

総数	6,255人
平均	42.6人



※総数は、今後5年間の採用希望人数の合計値

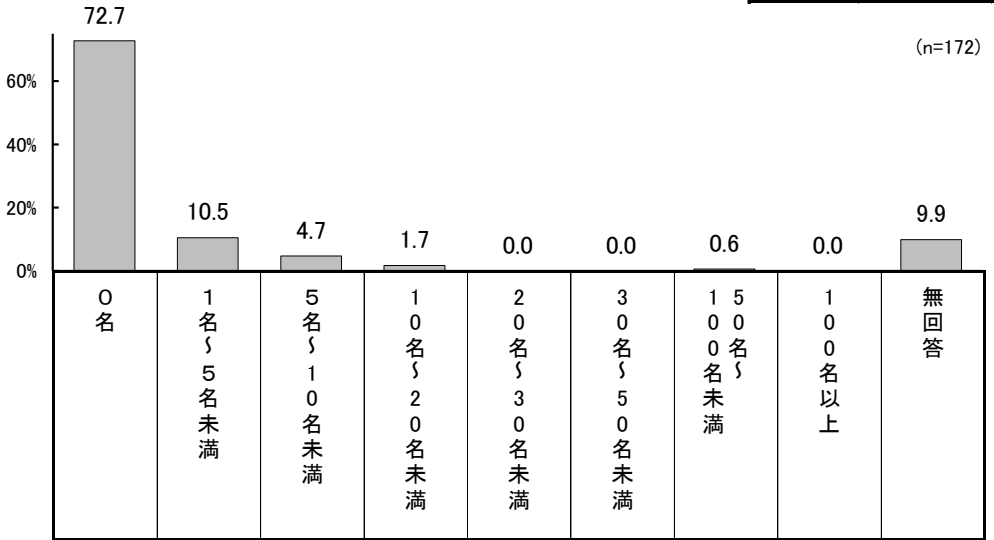
看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

■看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

Q7. 貴院・貴団体に、(1)～(3)現在、看護師・保健師・薬剤師として勤務されている方の人数、
 (4)～(6)今後5年間で看護師・保健師・薬剤師として新たに採用したいと思う人数を、それぞれ教えてください。
 (それぞれ、[]内に人数を記入)

(2) 保健師の現在の勤務者数

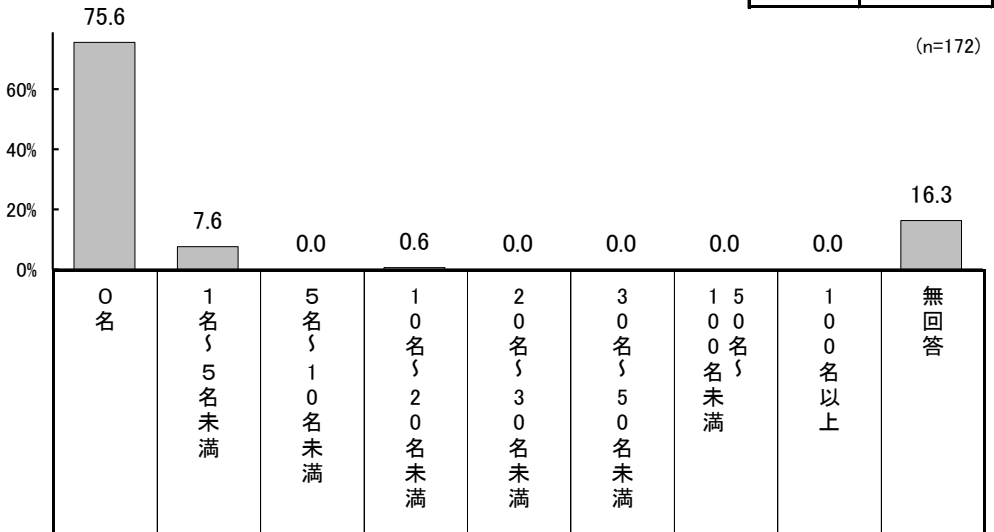
総数	189人
平均	1.2人



※総数は、現在の勤務者数の合計値

(5) 保健師の今後5年間の採用希望人数

総数	29人
平均	0.2人



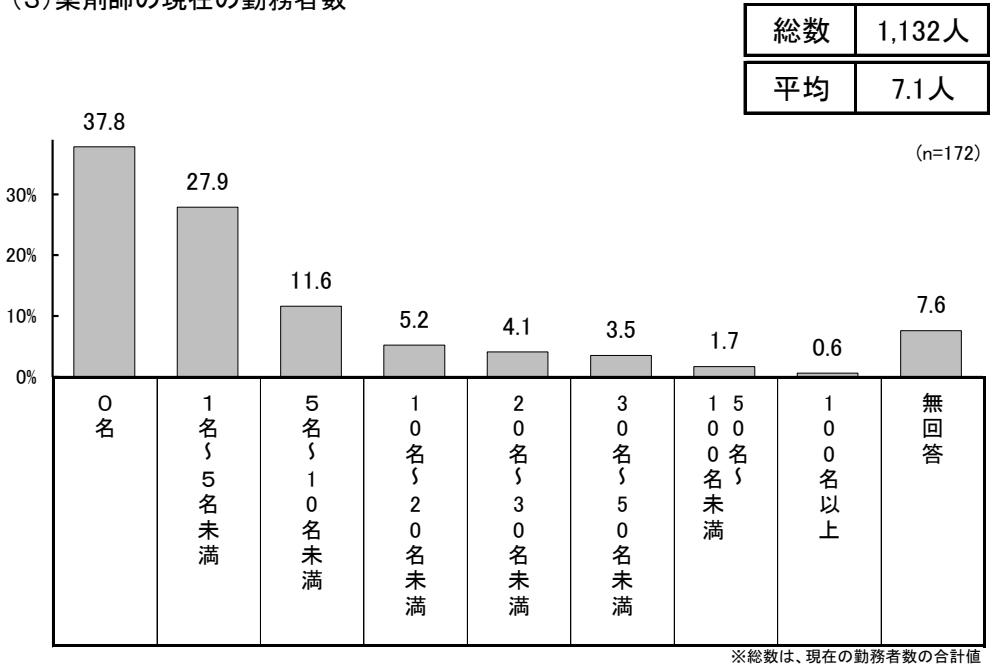
※総数は、今後5年間の採用希望人数の合計値

看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

■看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

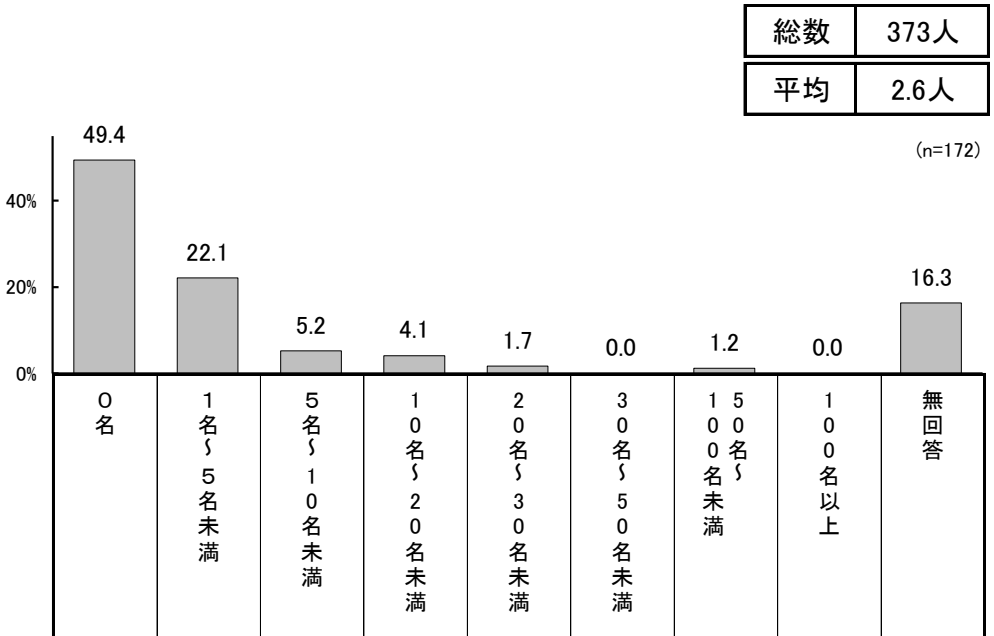
Q7. 貴院・貴団体に、(1)～(3)現在、看護師・保健師・薬剤師として勤務されている方の人数、
 (4)～(6)今後5年間で看護師・保健師・薬剤師として新たに採用したいと思う人数を、それぞれ教えてください。
 (それぞれ、[]内に人数を記入)

(3) 薬剤師の現在の勤務者数



※総数は、現在の勤務者数の合計値

(6) 薬剤師の今後5年間の採用希望人数

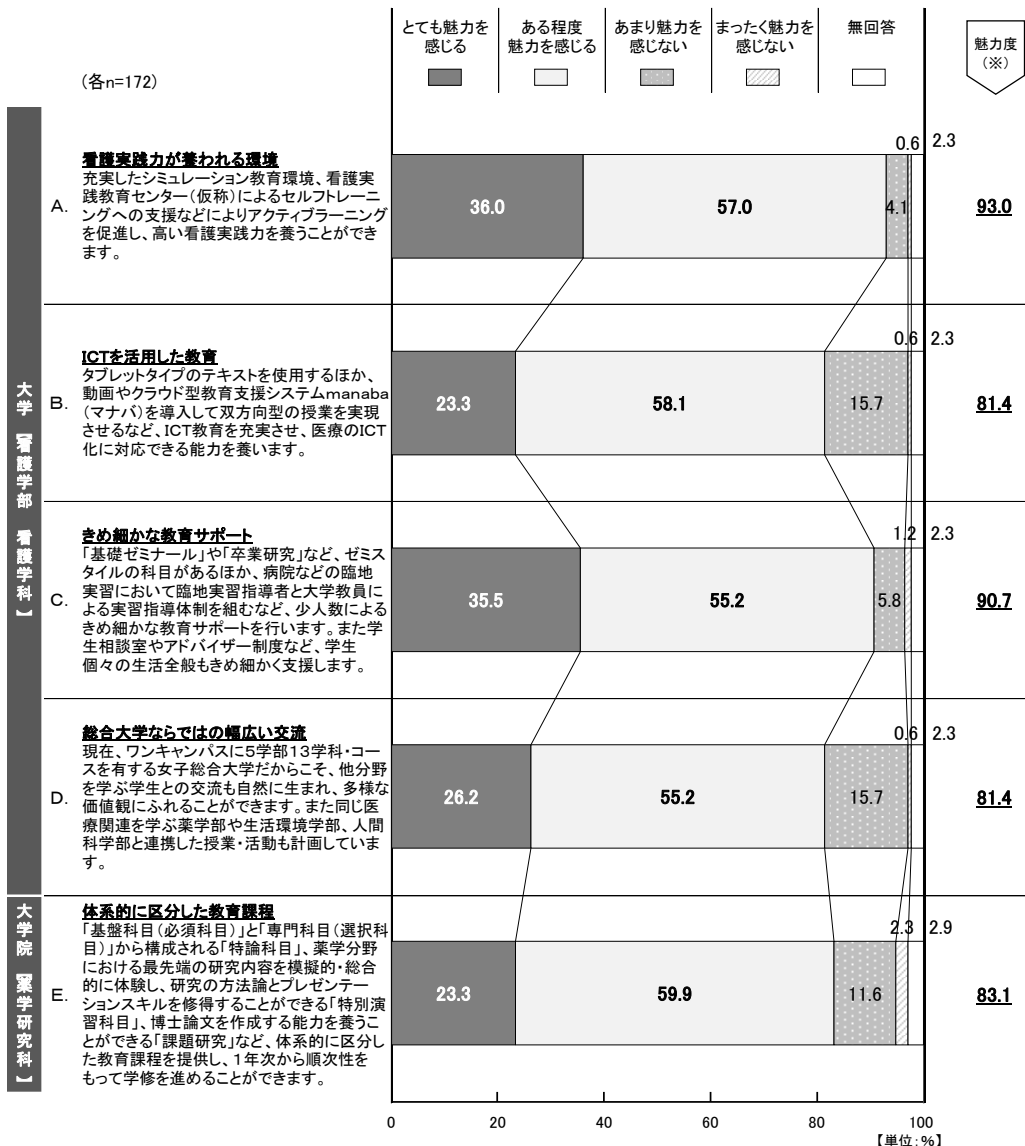


※総数は、今後5年間の採用希望人数の合計値

金城学院大学の各学部・学科および研究科の特色に対する魅力度

■金城学院大学の各学部・学科および研究科の特色に対する魅力度

Q8. 金城学院大学の「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)、金城学院大学大学院の「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置構想中)には以下の特色があります。貴院・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



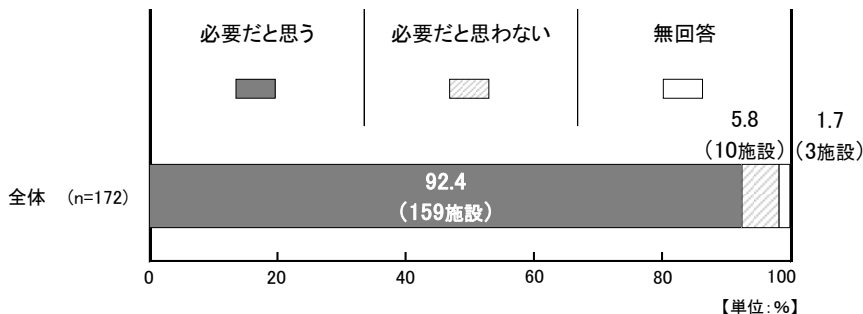
※魅力度=「とても魅力を感じる」+「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

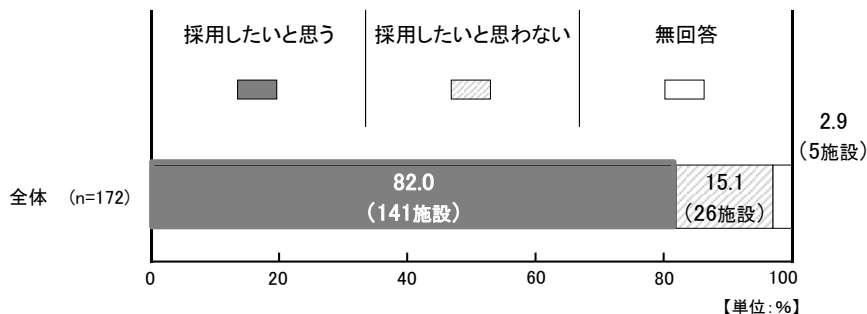
■金城学院大学「看護学部 看護学科」の社会的必要性

Q9. 貴院・貴団体(ご回答者)は、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)



■金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴院・貴団体(ご回答者)では、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)※看護師として採用



「採用したいと思う」と答えた141施設のみ抽出

■金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの学部・学科、研究科の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)※看護師として採用

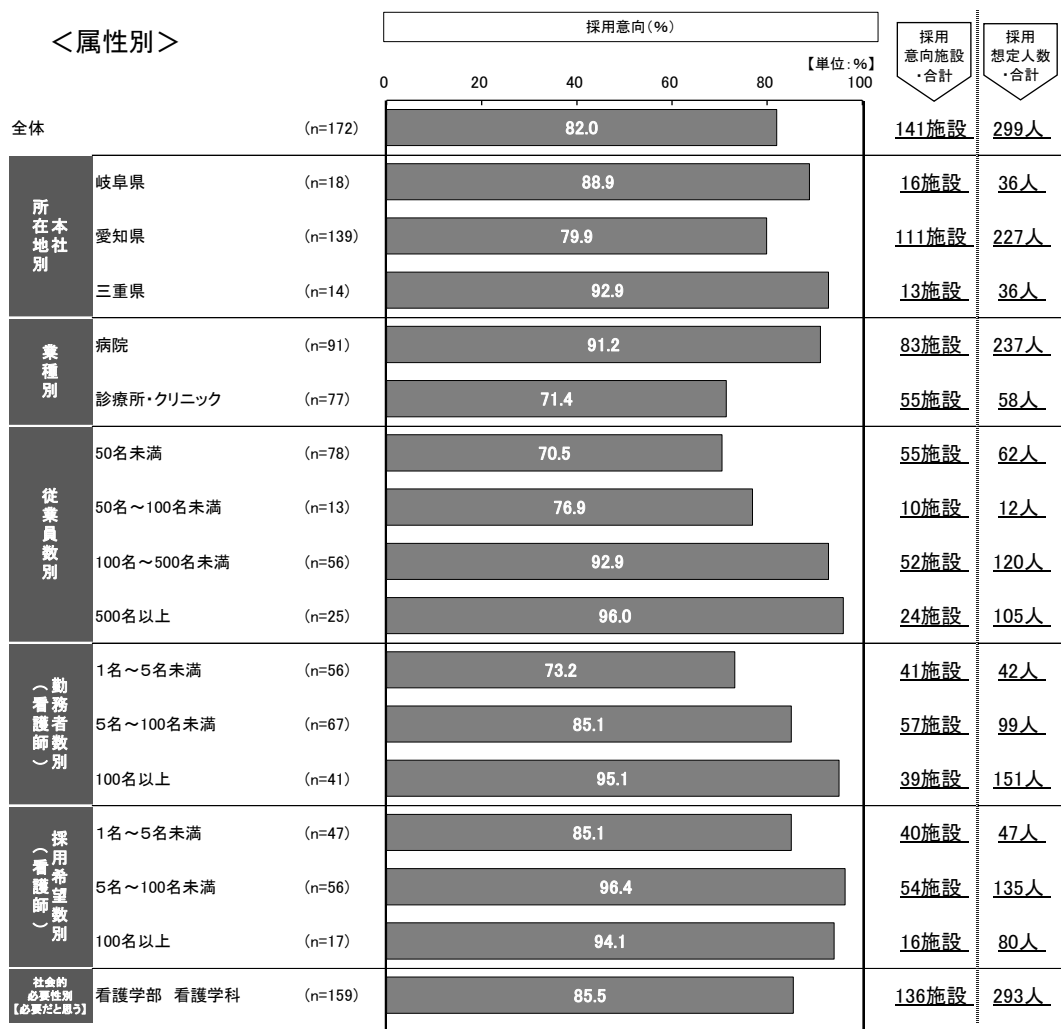
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	計 (※ よしの びたの 採用 施設 採用 想定 人数 ・ 計 人数 を)	
		%	%	%	%	%	%		
全体		47.5%	13.5%	15.6%	1.4%	8.5%	4.3%	⇒	
	施設数	67	19	22	2	12	6		128
	名	67	38	66	8	60	60		299

※ 毎年の審査意見数(用)(資料)9名62名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」 卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

■金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」卒業生に対する 採用意向／採用想定人数<属性別>

※金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」に対して、
Q10で「採用したいと思う」(※看護師として採用)と回答した施設を【採用意向施設】と定義し、さらに【採用意向施設】のうち、Q11で具体的な人数を回答した施設の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。

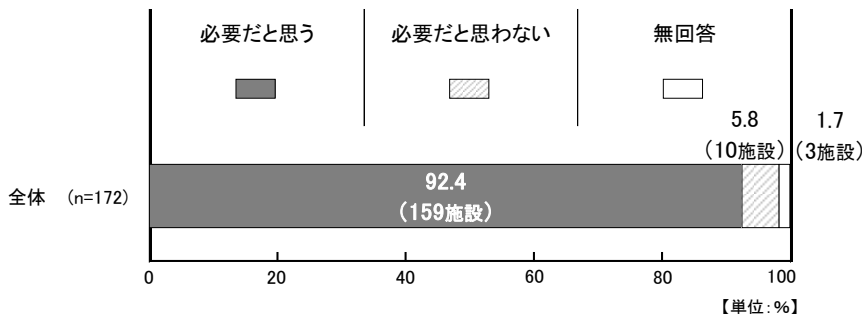


※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

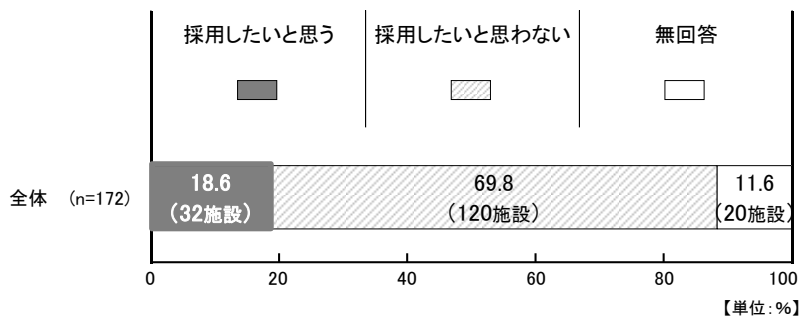
■金城学院大学「看護学部 看護学科」の社会的必要性

Q9. 貴院・貴団体(ご回答者)は、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)



■金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴院・貴団体(ご回答者)では、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)※保健師として採用



「採用したいと思う」と答えた32施設のみ抽出

■金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの学部・学科、研究科の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
「1. 採用したいと思う」と回答された学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)※保健師として採用

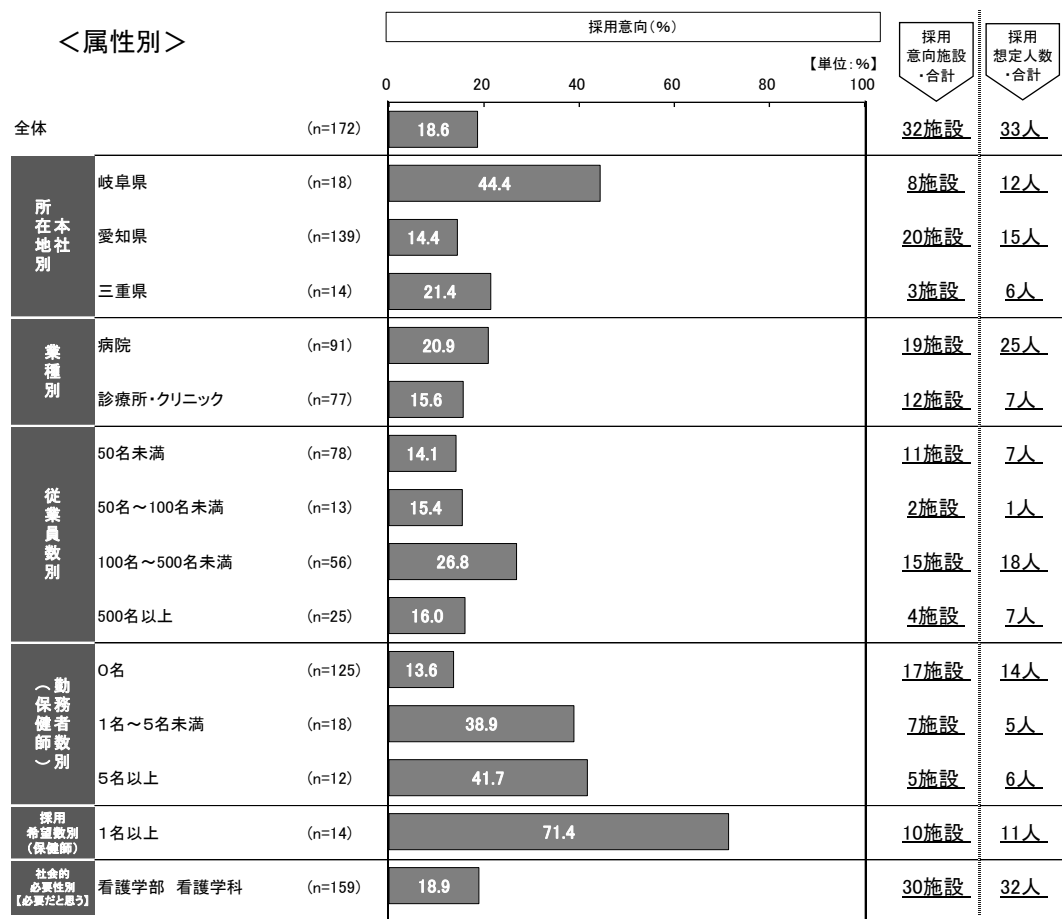
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	計 (※お示 よした びたの 採用 施設 採用 想定 人数 ・ 計 人数 を)
		%	%	%	%	%	%	
全体	%	62.5%	3.1%	6.3%	0.0%	3.1%	0.0%	⇒ 24 33
	施設数	20	1	2	0	1	0	
	名	20	2	6	0	5	0	

※ 毎年の審査意見数(用)(資料)9名64名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」 卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

■金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」卒業生に対する 採用意向／採用想定人数<属性別>

※金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」に対して、
Q10で「採用したいと思う」(※保健師として採用)と回答した施設を【採用意向施設】と定義し、さらに【採用意向施設】のうち、Q11で具体的な人数を回答した施設の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。

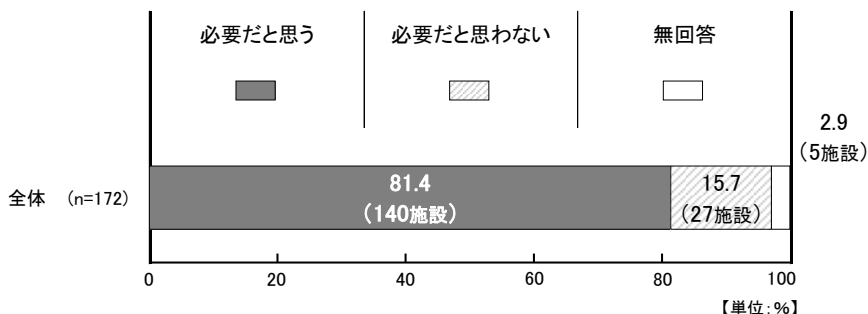


※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」の社会的必要性／修了生に対する採用意向／修了生の毎年の採用想定人数

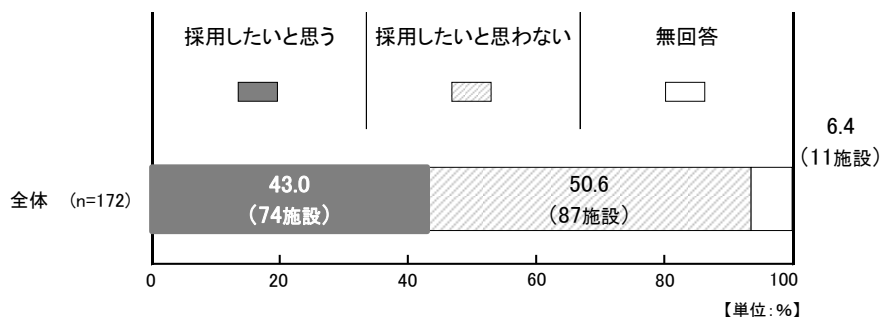
■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」の社会的必要性

Q9. 貴院・貴団体(ご回答者)は、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)



■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」修了生に対する採用意向

Q10. 貴院・貴団体(ご回答者)では、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用したいと思えますか。(あてはまる番号1つに○)※薬剤師として採用



「採用したいと思う」と答えた74施設のみ抽出

■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」修了生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの学部・学科、研究科の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)※薬剤師として採用

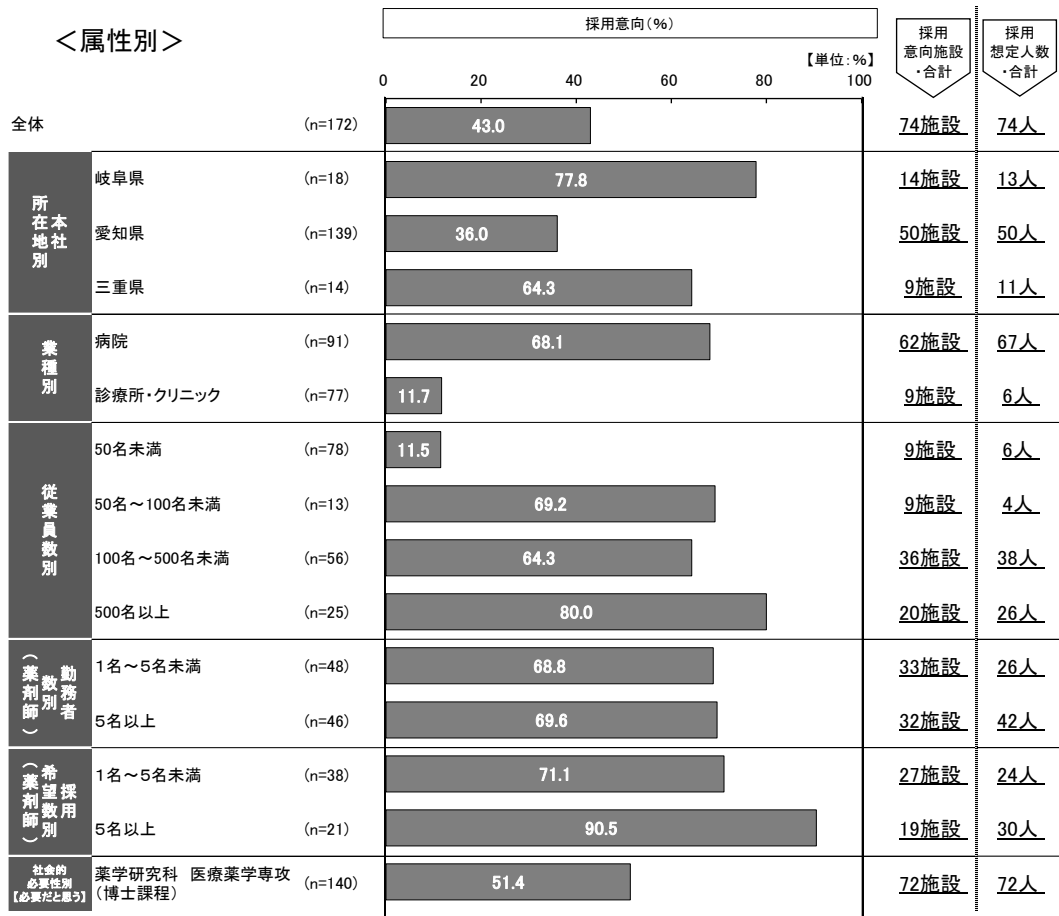
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名以上	計 お示 よし (※ びた の採 用設 想定 ・計 人数 を)	
		%							
全体	74	%	66.2%	8.1%	4.1%	1.4%	0.0%	⇒	
		施設数	49	6	3	1	0		59
		名	49	12	9	4	0		74

※ 毎年の審査意見数(用)(資料)9名66名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 修了生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

■金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」修了生に対する 採用意向／採用想定人数<属性別>

※金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」に対して、
Q10で「採用したいと思う」(※薬剤師として採用)と回答した施設を【採用意向施設】と定義し、さらに【採用意向施設】のうち、Q11で具体的な人数を回答した施設の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。



※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

卷末資料 調查票

調査票

看護師・薬剤師の採用ご担当者様

金城学院大学「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中) 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 (仮称、設置構想中)に関するアンケート

2022年(令和4年)4月より、金城学院大学では「看護学部 看護学科」(仮称)を、金城学院大学大学院では「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称)を新設することを構想しています。
このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部学科・研究科にするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。
※このアンケートや同封した資料に記載されている内容に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴院・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴院・貴団体の所在地について、都道府県名をお教えてください。

所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴院・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|--------|
| 1. 病院 | 3. 訪問看護ステーション | 5. その他 |
| 2. 診療所・クリニック | 4. 保健所・保健センター | |

Q4. 貴院・貴団体の従業員数(正規職員・社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～500名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴院・貴団体の過去3か年の平均的な正規職員・社員の採用数について、お教えてください。

過去3か年 平均

名程度

Q6. 貴院・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------|--------|
| 1. 増やす | 3. 減らす |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定 |

→次ページに続く

調査票

- Q7. 貴院・貴団体で、(1)～(3)現在、**看護師・保健師・薬剤師**として勤務されている方の人数、
 (4)～(6)今後5年間で**看護師・保健師・薬剤師**として新たに採用したいと思う人数を、それぞれ教えてください。
 (それぞれ、[]内に人数を記入)

(1) 看護師 の現在の勤務者数	[]人	(4) 看護師 の今後5年間の採用希望人数	[]人
(2) 保健師 の現在の勤務者数	[]人	(5) 保健師 の今後5年間の採用希望人数	[]人
(3) 薬剤師 の現在の勤務者数	[]人	(6) 薬剤師 の今後5年間の採用希望人数	[]人

ここからは、金城学院大学「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)、
 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置構想中)
 についてお聞きます。

※ ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

- Q8. 金城学院大学の「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)、
 金城学院大学大学院の「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置構想中)
 には以下の特色があります。貴院・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色は
 それぞれどの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

			とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	
		→	1	②	3	4	
大学	看護学部 看護学科	A. 看護実践力が養われる環境 充実したシミュレーション教育環境、看護実践教育センター(仮称)によるセルフレARNINGへの支援などによりアクティブラーニングを促進し、高い看護実践力を養うことができます。	→	1	2	3	4
		B. ICTを活用した教育 タブレットタイプのテキストを使用するほか、動画やクラウド型教育支援システムmanaba(マナバ)を導入して双方向型の授業を実現させるなど、ICT教育を充実させ、医療のICT化に対応できる能力を養います。	→	1	2	3	4
		C. きめ細かな教育サポート 「基礎ゼミナール」や「卒業研究」など、ゼミスタイルの科目があるほか、病院などの臨地実習において臨地実習指導者と大学教員による実習指導体制を組むなど、少人数によるきめ細かな教育サポートを行います。また学生相談室やアドバイザー制度など、学生個々の生活全般もきめ細かく支援します。	→	1	2	3	4
		D. 総合大学ならではの幅広い交流 現在、ワンキャンパスに5学部13学科・コースを有する女子総合大学だからこそ、他分野を学ぶ学生との交流も自然に生まれ、多様な価値観にふれることができます。また同じ医療関連を学ぶ薬学部や生活環境学部、人間科学部と連携した授業・活動も計画しています。	→	1	2	3	4
大学院	薬学研究科	E. 体系的に区分した教育課程 「基礎科目(必須科目)」と「専門科目(選択科目)」から構成される「特論科目」、薬学分野における最先端の研究内容を模範的・総合的に体験し、研究の方法論とプレゼンテーションスキルを修得することができる「特別演習科目」、博士論文を作成する能力を養うことができる「課題研究」など、体系的に区分した教育課程を提供し、1年次から順次性をもって学修を進めることができます。	→	1	2	3	4

→次ページに続く

調査票

Q9. 貴院・貴団体(ご回答者)は、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科は、これからの社会にとって必要だと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

			必要だと思う	必要だと思わない
大学	看護学部 看護学科	→	1	2
大学院	薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)	→	1	2

Q10. 貴院・貴団体(ご回答者)では、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

			採用したいと思う	採用したいと思わない
大学	看護学部 看護学科(看護師資格所有者) ※看護師として採用	→	1	2
	看護学部 看護学科(保健師資格所有者) ※保健師として採用	→	1	2
大学院	薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程) ※薬剤師として採用	→	1	2

Q11. Q10でいずれかの学部・学科、研究科の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。「1. 採用したいと思う」と回答された学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

			1名	2名	3名	4名	5名 ～9名	10名 以上
大学	看護学部 看護学科(看護師資格所有者) ※看護師として採用	→	1	2	3	4	5	6
	看護学部 看護学科(保健師資格所有者) ※保健師として採用	→	1	2	3	4	5	6
大学院	薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程) ※薬剤師として採用	→	1	2	3	4	5	6

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

金城学院大学大学院
「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」
(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【薬学部薬学科所属の在学生対象調査】

令和3年6月
株式会社 進研アド

薬学部薬学科所属の在学生対象 調査概要

1. 調査目的

2022年4月開設予定の金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」の設置構想に関して、在学生ニーズを把握する。

2. 調査概要

		在学生対象調査
調査対象		金城学院大学 薬学部 薬学科に所属する在学生 (薬学部 薬学科6年生、薬学部 薬学科5年生、 薬学部 薬学科4年生、薬学部 薬学科3年生、 薬学部 薬学科2年生、薬学部 薬学科1年生)
調査方法		インターネット調査
調査対象数	学生数	858人
	回収数	754人
	回収率	87.9%
調査時期		2021年6月7日(月)～2021年6月9日(水)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

在学生対象調査
<ul style="list-style-type: none">・ 学年・ 金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」設置計画に対する興味・関心度・ 金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への進学希望

**薬学部薬学科所属の在学生対象
調査結果まとめ**



薬学部薬学科所属の在学生対象 調査結果まとめ

※本調査は、金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」に対する需要を確認するための調査として設計しており、金城学院大学薬学部 薬学科に所属する在学生である6年生計139名、5年生計154名、4年生計153名、3年生計151名、2年生計147名、1年生計114名に調査を実施し、6年生計117名、5年生計107名、4年生計147名、3年生計144名、2年生計128名、1年生計111名から回答を得た。

6年生の回答

- ・薬学部 薬学科6年生139名に配付し、117名から回答を得た。
- ・金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」に対する興味・関心度を聞いたところ、「とても興味・関心を持った」と回答したのは0.9%であり、「少し興味・関心を持った」の回答とあわせると、40.2%の学生が興味・関心を持っていた。
- ・進学希望については、「大学卒業後すぐに進学したいと思う」との回答は0.0%(0名)で、本構想における入学定員数(2名)を満たす進学希望は、当該学年の学生からは得られなかった。

5年生の回答

- ・薬学部 薬学科5年生154名に配付し、107名から回答を得た。
- ・金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」に対する興味・関心度を聞いたところ、「とても興味・関心を持った」と回答したのは0.9%であり、「少し興味・関心を持った」の回答とあわせると、49.5%の学生が興味・関心を持っていた。
- ・進学希望については、3.7%(4名)が「大学卒業後すぐに進学したいと思う」と回答しており、本構想における入学定員数(2名)の2倍が進学希望を示した結果となった。

薬学部薬学科所属の在学生対象 調査結果まとめ

4年生の回答

- ・薬学部 薬学科4年生153名に配付し、147名から回答を得た。
- ・金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」に対する興味・関心度を聞いたところ、「とても興味・関心を持った」と回答したのは2.7%であり、「少し興味・関心を持った」の回答とあわせると、39.5%の学生が興味・関心を持っていた。
- ・進学希望については、2.0%(3名)が「大学卒業後すぐに進学したいと思う」と回答しており、本構想における入学定員数(2名)を上回る進学希望を示した結果となった。

3年生の回答

- ・薬学部 薬学科3年生151名に配付し、144名から回答を得た。
- ・金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」に対する興味・関心度を聞いたところ、「とても興味・関心を持った」と回答したのは2.1%であり、「少し興味・関心を持った」の回答とあわせると、43.1%の学生が興味・関心を持っていた。
- ・進学希望については、2.8%(4名)が「大学卒業後すぐに進学したいと思う」と回答しており、本構想における入学定員数(2名)の2倍が進学希望を示した結果となった。

薬学部薬学科所属の在学生対象 調査結果まとめ

2年生の回答

- ・薬学部 薬学科2年生147名に配付し、128名から回答を得た。
- ・金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」に対する興味・関心を聞いたところ、「とても興味・関心を持った」と回答したのは1.6%であり、「少し興味・関心を持った」の回答とあわせると、42.2%の学生が興味・関心を持っていた。
- ・進学希望については、3.1%(4名)が「大学卒業後すぐに進学したいと思う」と回答しており、本構想における入学定員数(2名)の2倍が進学希望を示した結果となった。

1年生の回答

- ・薬学部 薬学科1年生114名に配付し、111名から回答を得た。
- ・金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」に対する興味・関心を聞いたところ、「とても興味・関心を持った」と回答したのは18.9%であり、「少し興味・関心を持った」の回答とあわせると、78.4%の学生が興味・関心を持っていた。
- ・進学希望については、7.2%(8名)が「大学卒業後すぐに進学したいと思う」と回答しており、本構想における入学定員数(2名)の4倍が進学希望を示した結果となった。

薬学部薬学科所属の在学生対象 調査結果



在学生 集計結果

■学年

	標本数	単位	薬学部	薬学部	薬学部	薬学部	薬学部	薬学部
			薬学科 1年生	薬学科 2年生	薬学科 3年生	薬学科 4年生	薬学科 5年生	薬学科 6年生
全体	754	%	14.7	17.0	19.1	19.5	14.2	15.5
		人	111	128	144	147	107	117

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度/進学希望(6年生)

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度

① 金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)の設置計画について、
どのように感じましたか。(選択必須)

	標本数	単位	持とても興味・関心を	持った少し興味・関心を	持てなかつたあまり興味・関心を	持てなかつた興味・関心を	わからない	興味・関心を	持てなかつた興味・関心を
全体	117	%	0.9	39.3	31.6	16.2	12.0	40.2	47.9
		人	1	46	37	19	14	47	56

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への 進学希望

② 金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)への進学を希望されますか。(選択必須)

	標本数	単位	大学卒業後に進学したいと思う	実務経験を積んだ後に進学したいと思う	進学したいと思わない
全体	117	%	0.0	10.3	89.7
		人	0	12	105

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度/進学希望(5年生)

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度

① 金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)の設置計画について、
どのように感じましたか。(選択必須)

	標本数	単位	持とても興味・関心を 持った	少し興味・関心を 持った	あまり興味・関心を 持てなかった	まったく興味・関心を 持てなかった	わからない	興味・関心を 持った・計	興味・関心を 持てなかった・計
全体	107	%	0.9	48.6	34.6	6.5	9.3	49.5	41.1
		人	1	52	37	7	10	53	44

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への 進学希望

② 金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)への進学を希望されますか。(選択必須)

	標本数	単位	大学卒業後 すぐに進学したいと思う	実務経験を積んだ後に 進学したいと思う	進学したいと思わない
全体	107	%	3.7	5.6	90.7
		人	4	6	97

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度/進学希望(4年生)

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度

① 金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)の設置計画について、
どのように感じましたか。(選択必須)

	標本数	単位	持とても興味・関心を 持った	少し興味・関心を 持った	あまり興味・関心を 持てなかつた	まったく興味・関心を 持てなかつた	わからない	興味・関心を 持った・計	興味・関心を 持てなかつた・計
全体	147	%	2.7	36.7	42.2	12.2	6.1	39.5	54.4
		人	4	54	62	18	9	58	80

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への 進学希望

② 金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)への進学を希望されますか。(選択必須)

	標本数	単位	大学卒業後 すぐに進学したいと思う	実務経験を積んだ後に 進学したいと思う	進学したいと思わない
全体	147	%	2.0	9.5	88.4
		人	3	14	130

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度/進学希望(3年生)

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度

① 金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)の設置計画について、
どのように感じましたか。(選択必須)

	標本数	単位	持っても興味・関心を	持った少し興味・関心を	持たあまり興味・関心を	持たなかつた興味・関心を	わからない	興味・関心を	興味・関心を
全体	144	%	2.1	41.0	45.8	8.3	2.8	43.1	54.2
		人	3	59	66	12	4	62	78

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への 進学希望

② 金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)への進学を希望されますか。(選択必須)

	標本数	単位	大学卒業後に進学したいと思う	実務経験を積んだ後に進学したいと思う	進学したいと思わない
全体	144	%	2.8	7.6	89.6
		人	4	11	129

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度/進学希望(2年生)

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度

① 金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)の設置計画について、
どのように感じましたか。(選択必須)

	標本数	単位	持とても興味・関心を 持った	少し興味・関心を 持った	あまり興味・関心を 持てなかつた	まったく興味・関心を 持てなかつた	わからない	興味・関心を 持った・計	興味・関心を 持てなかつた・計
全体	128	%	1.6	40.6	35.2	12.5	10.2	42.2	47.7
		人	2	52	45	16	13	54	61

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への 進学希望

② 金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)への進学を希望されますか。(選択必須)

	標本数	単位	大学卒業後 すぐに進学したいと思う	実務経験を積んだ後に 進学したいと思う	進学したいと思わない
全体	128	%	3.1	9.4	87.5
		人	4	12	112

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度/進学希望(1年生)

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 設置計画に対する興味・関心度

① 金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)の設置計画について、
どのように感じましたか。(選択必須)

	標本数	単位	持っても興味・関心を	少し興味・関心を	あまり興味・関心を	まったく興味・関心を	わからない	興味・関心を	興味・関心を
全体	111	%	18.9	59.5	15.3	1.8	4.5	78.4	17.1
		人	21	66	17	2	5	87	19

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への 進学希望

② 金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)への進学を希望されますか。(選択必須)

	標本数	単位	大学卒業後に進学したいと思う	実務経験を積んだ後に進学したいと思う	進学したいと思わない
全体	111	%	7.2	20.7	72.1
		人	8	23	80

卷末資料 調查票



調査票

金城学院大学 薬学研究科【在学生用アンケート】調査票

① 金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)の設置計画について、どのように感じましたか。(選択必須)

1. とても興味・関心を持った
2. 少し興味・関心を持った
3. あまり興味・関心を持てなかった
4. まったく興味・関心を持てなかった
5. わからない

② 金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)への進学を希望されますか。(選択必須)

1. 大学卒業後すぐに進学したいと思う
2. 実務経験を積んだ後に進学したいと思う
3. 進学したいと思わない

③ 金城学院大学「薬学研究科薬学専攻(博士課程)」(仮称)に関するご要望があればご記入ください。

卷末資料 設置構想概要資料



設置構想概要資料

金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻（博士課程）」（仮称）の設置計画の概要

1. 名称 薬学研究科薬学専攻（博士課程） 【仮称、設置認可申請中】

2. 開設予定時期 2022（令和4）年4月

3. 設置の理念、養成する人材像

現代医療において、高度な専門性や研究遂行能力を駆使して問題を解決する力が一層強く求められるようになってきています。このために、薬学領域に関する高度な専門知識を主体的に蓄積し理解を深め、専門知識と医療との関わりについて考察し、論点を整理して課題を設定するとともに、設定した課題に最先端かつ高度な薬学的知識を駆使して取り組み、解決し、その成果を発信する力を養成することが求められています。このような背景のもと、薬学研究科は薬学専攻の単一専攻科とし、高い倫理観、及び薬学領域に関する高度な専門知識と研究能力を通じて課題を設定し問題を解決する能力を有し、薬学研究に貢献できる研究者・医療従事者を養成することを目的とします。

4. 修了後に想定される主な進路

- ① 学術界における薬学研究者（薬学の専門家・教育者として後進を指導し社会に貢献）
- ② 産業界における薬学研究者（創薬、食品、化粧品研究等を通して社会に貢献）
- ③ 公務員（国立研究機関、公設試験研究機関での研究等を通して社会に貢献）
- ④ 医療機関における薬学研究者（臨床試験や調査研究などの臨床研究等を通して医療の発展に貢献）
- ⑤ 医療機関で高度な専門性を発揮できる医療従事者（医薬品情報担当者、専門医療機関連携薬局担当者等として医療に貢献）

5. 開設予定の教育課程

教育課程を、「特論科目」、「演習科目」、「課題研究」に体系的に区分し、1年次から順次性をもって学修を進めることができるように編成します。また、社会人学生に柔軟に対応した授業を実施します。

① 特論科目

特論科目では、すべての大学院生が履修する必修科目と目的に応じて専門性の高度化を図ることのできる選択必修科目を履修します。

【必修科目】「基礎薬学特論」「医療薬学特論」「研究実践法特論」「研究・医療倫理特論」

【選択必修科目】「天然医薬品資源学特論」、「創薬化学特論」、「生体機能解析学特論」、「薬剤学特論」、「病態薬効解析学特論」、「免疫・アレルギー学特論」、「生化学特論」、「オミクス特論」、「薬物治療研究学特論」

② 演習科目

演習科目では、薬学分野の最先端の研究内容を模擬的・総合的に体験し、研究の方法論とプレゼンテーションのスキルを修得します。

【必修科目】「薬学総合特別演習Ⅰ」、「薬学総合特別演習Ⅱ」

【選択必修科目】「分子モデリング・シミュレーション特別演習」、「化学系高度分析機器特別演習」、「生物系高度分析機器特別演習」、「医療情報解析学特別演習」、「実践医療薬学特別演習」

③ 課題研究

課題研究では、研究能力の向上を目指し、研究室を中心にして研究指導を受けます。博士論文の作成につながるものです。医薬品化学分野、物理・薬剤学分野、応用生物学分野、薬物学分野、実践医療薬学分野などの研究領域から約20件の課題研究で構成されます。

例：「薬剤耐性に関与する抗菌薬抵抗分子の構造・機能解析に関する研究」「生体におけるマスト細胞の生理的意義とその役割に関する研究」「がん化学療法に関わる臨床研究」「医薬品副作用の予測・予防に役立つ情報の構築」

設置構想概要資料

6. 学位の名称 博士（薬学）
7. 設置場所 金城学院大学 〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目 1723 番地
Tel: 052-798-0180(代表)
8. 入学定員 2人（収容定員8人）
9. 学生納付金 入学金 200,000円 授業料（年額） 900,000円
10. 競合する大学・研究科・専攻等の名称
名城大学 大学院薬学研究科薬学専攻（博士課程）
愛知学院大学 大学院薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）
鈴鹿医療科学大学 大学院薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）

（注）上記の概要は現在計画中の予定であり、変更される場合があります。

金城学院大学大学院
「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」
(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【現職薬剤師対象】

令和3年6月
株式会社 進研アド

現職薬剤師対象 調査概要

1. 調査目的

2022年4月開設予定の金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」新設構想に関して、主な進学者として想定される現職の薬剤師の進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

		薬剤師対象調査
調査対象		医療施設の現職薬剤師
調査エリア		愛知県、三重県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	462人想定(154施設) ※1施設あたり、3枚の調査票を送付
	回収数(回収率)	21人(4.5%)
調査時期		2021年6月7日(月)～2021年6月14日(月)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

薬剤師対象調査
・性別
・年齢
・勤務地
・最終学歴
・保有資格
・薬剤師の実務経験
・「学びなおし」への関心の有無
・金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」の特色に対する魅力度
・金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への受験意向
・金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への入学意向
・金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への希望入学時期

現職薬剤師対象 調査結果まとめ



現職薬剤師対象 調査結果まとめ

回答者の属性

※本調査は、金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」に対する現職薬剤師からの進学ニーズを確認するための調査として設計。金城学院大学大学院の主な学生募集エリアである愛知県・三重県の医療施設の現職薬剤師に調査を実施し、21人から回答を得た。

- 回答者の性別は「女性」が100.0%である。
- 回答者の年齢は「20代」が47.6%を占めている。次いで「30代」が33.3%、「40代」が14.3%である。
- 回答者が勤務する施設の所在地は、金城学院大学大学院の所在地である「愛知県」が71.4%を占め、最も多い。次いで「三重県」が28.6%である。
- 回答者の最終学歴は、「大学卒」が90.5%を占めている。次いで「大学院卒(博士課程、博士前期課程、専門職学位課程)」が9.5%である。
- 回答者の保有資格は「薬剤師」が100.0%である。
- 回答者の薬剤師としての実務経験年数は「5年～10年未満」が33.3%と最も高い。次いで「1年～5年未満」が28.6%、「1年未満」「20年～30年未満」が同率で14.3%である。平均年数は「8.6年」であった。

「学びなおし」への関心の有無

- 「学びなおし」に関心があるかを尋ねたところ、「関心がある」と答えた回答者は47.6%と、5割近い回答者が学びなおしへの関心を示した。

現職薬剤師対象 調査結果まとめ

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 の特色に対する魅力度

- 金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」の特色である「A. **体系的に区分した教育課程**『必修科目』と目的に応じて専門性の高度化を図ることのできる『選択必修科目』から構成される【特論科目】、薬学分野における最先端の研究内容を模擬的・総合的に体験し、研究の方法論とプレゼンテーションスキルを修得することができる【演習科目】、博士論文を作成する能力を養うことができる【課題研究】など、体系的に区分した教育課程を提供し、1年次から順次性をもって学修を進めることができます。」については、71.4%の回答者が魅力を感じると回答。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 への受験意向／入学意向

- 金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」を「受験したいと思う」と答えた回答者は、14.3% (3人)である。
- 金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」を「受験したいと思う」と答えた3人のうち、金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」に「入学したいと思う」と回答した人は、100.0% (3人)である。

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」 への入学希望時期

- 金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」を「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と答えた3人に、入学希望時期を尋ねたところ、「2022年4月の入学を希望する」と回答した人は、100.0% (3人中、3人)である。

現職薬剤師対象 調査結果

回答者の属性(性別/年齢/勤務地)

■回答者の属性

Q1. あなたご自身についてお教えてください。

◆性別

	標本数	単位	男性	女性	無回答
全体	21	%	0.0	100.0	0.0
		人	0	21	0

◆年齢

	標本数	単位	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
全体	21	%	47.6	33.3	14.3	0.0	4.8	0.0
		人	10	7	3	0	1	0

◆勤務地

	標本数	単位	愛知県	三重県	無回答
全体	21	%	71.4	28.6	0.0
		人	15	6	0

回答者の属性(最終学歴/保有資格/薬剤師の実務経験)

■回答者の属性

Q1. あなたご自身についてお教えてください。

◆最終学歴

	標本数	単位	高等学校卒	専修・各種学校卒	高等専門学校卒	短期大学卒	大学卒	士前期課程、専門職学位課程)	大学院卒(修士課程、博士課程)	大学院卒(博士後期課程、5年一貫の博士課程)	その他	無回答
全体	21	%	0.0	0.0	0.0	0.0	90.5	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0
		人	0	0	0	0	19	2	0	0	0	0

◆保有資格

	標本数	単位	薬剤師	その他	無回答
全体	21	%	100.0	0.0	0.0
		人	21	0	0

◆薬剤師の実務経験

	標本数	単位	1年未満	1年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年～30年未満	30年以上	無回答	平均【年】
全体	21	%	14.3	28.6	33.3	4.8	0.0	14.3	4.8	0.0	8.6
		人	3	6	7	1	0	3	1	0	

※自由記述で聴取した人数をカテゴリー分けして集計

「学びなおし」への関心の有無

■「学びなおし」への関心の有無

Q2. あなたは、専門知識の修得やスキルアップのために、大学院に入学し、「学びなおし」することに関心がありますか。
あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

	標 本 数	単 位	関 心 が あ る	関 心 が な い	無 回 答
全体	21	%	47.6	52.4	0.0
		人	10	11	0

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻（博士課程）」の特色に対する魅力度

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻（博士課程）」の特色に対する魅力度

Q3. 金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻（博士課程）」(仮称、設置認可申請中)には、以下のような特色があります。このような特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(1つだけ)(大学院への進学を希望されていない方も進学を希望する場合を想像してお答えください。)

A. 体系的に区分した教育課程

「必修科目」と目的に応じて専門性の高度化を図ることのできる「選択必修科目」から構成される【特論科目】、薬学分野における最先端の研究内容を模擬的・総合的に体験し、研究の方法論とプレゼンテーションスキルを修得することができる【演習科目】、博士論文を作成する能力を養うことができる【課題研究】など、体系的に区分した教育課程を提供し、1年次から順次性をもって学修を進めることができます。

	標本数	単位	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	無回答	魅力度
全体	21	%	4.8	66.7	28.6	0.0	0.0	71.4
		人	1	14	6	0	0	15

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻 (博士課程)」への受験意向／入学意向

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への受験意向

Q4. あなたは、Q3のような特色をもつ金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置認可申請中)を受験してみたいと思いますか。あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

	標本数	単位	受験したいと思う	受験したいとは思わない	無回答
全体	21	%	14.3	85.7	0.0
		人	3	18	0



「受験したいと思う」と答えた3人のみ抽出

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への入学意向

Q5. あなたが、もし金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置認可申請中)を受験して合格したら、入学したいと思いますか。あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

	標本数	単位	入学したいと思う	入学したいとは思わない	無回答
受験意向者	3	%	100.0	0.0	0.0
		人	3	0	0



「受験意向(Q4)」と「入学意向(Q5)」を
かけあわせて集計(母数は全回答者)

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への 受験意向別入学意向

	標本数	単位	受験したいと思う & 入学したいと思う	受験したいとは思わ ない & 入学したいと思わ ない	受験したいと思わ ない	無回答
全体	21	%	14.3	0.0	85.7	0.0
		人	3	0	18	0

— 審査意見(6月)(資料) 101 —

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻 (博士課程)」への入学希望時期

■(再掲)金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への受験意向別入学意向

	標本数	単位	受験したいと思う & 入学したいと思う	受験したいと思う & 入学しない	受験したいと思わない	無回答
全体	21	%	14.3	0.0	85.7	0.0
		人	3	0	18	0



「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と答えた3人のみ抽出

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」への入学希望時期

Q6. Q5で、金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置認可申請中)に「入学したいと思う」と回答した方にお聞きます。あなたは、金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置認可申請中)に入学するとしたら、いつごろの入学を希望しますか。あなたのお気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

	標本数	単位	入学を希望する 2022年4月の	入学を希望する 2023年4月の	入学を希望する 2024年4月以降の	無回答
受験 & 入学意向者	3	%	100.0	0.0	0.0	0.0
		人	3	0	0	0

卷末資料 調査票

現職薬剤師対象 調査票

ご勤務なさっている薬剤師の方

金城学院大学大学院
「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置認可申請中)
入学に関するアンケート調査

令和3年6月 金城学院大学

金城学院大学では、2022年(令和4年)4月に大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称)の開設を計画しております。

つきましては、薬剤師として現場で働く皆様へ、大学院での学び直しやキャリアアップについて調査させていただき、構想中の「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称)の内容をより充実したものにするための参考とさせていただきたいと考えております。

なお、この調査は無記名で行い、皆様の個人情報を守ることをお約束いたします。

ぜひ、皆様の忌憚のないご意見をお聞かせくださいますよう、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

この調査についてご不明な点、ご質問などありましたらお手数ですが
金城学院大学 総務部 置田・磯部(TEL052-798-0180)までご連絡ください。

※このアンケートや別紙に記載されている内容は予定であり、変更になる可能性があります。

このアンケート用紙の裏面に直接回答をご記入のうえ、
【2021年6月13日(日)までにFAXでご返信ください】

ご返信先:FAX【052-798-4462】

※FAXにてご返信頂く際には裏面の回答ページのみをご送信頂きますよう、
よろしくお願い申し上げます。

金城学院大学では、2022年(令和4年)4月に、
新しく大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称)
を設置することを構想しています。

※別紙「金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」
設置計画の概要」をご覧いただいた上、裏面の質問にお答えください ※

(裏面)回答ページへ

卷末資料 設置構想概要資料



設置構想概要資料

金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻（博士課程）」（仮称）の設置計画の概要

1. 名称 薬学研究科薬学専攻（博士課程） 【仮称、設置認可申請中】

2. 開設予定時期 2022（令和4）年4月

3. 設置の理念、養成する人材像

現代医療において、高度な専門性や研究遂行能力を駆使して問題を解決する力が一層強く求められるようになってきています。このために、薬学領域に関する高度な専門知識を主体的に蓄積し理解を深め、専門知識と医療との関わりについて考察し、論点を整理して課題を設定するとともに、設定した課題に最先端かつ高度な薬学的知識を駆使して取り組み、解決し、その成果を発信する力を養成することが求められています。このような背景のもと、薬学研究科は薬学専攻の単一専攻科とし、高い倫理観、及び薬学領域に関する高度な専門知識と研究能力を通じて課題を設定し問題を解決する能力を有し、薬学研究に貢献できる研究者・医療従事者を養成することを目的とします。

4. 修了後に想定される主な進路

- ① 学術界における薬学研究者（薬学の専門家・教育者として後進を指導し社会に貢献）
- ② 産業界における薬学研究者（創薬、食品、化粧品研究等を通して社会に貢献）
- ③ 公務員（国立研究機関、公設試験研究機関での研究等を通して社会に貢献）
- ④ 医療機関における薬学研究者（臨床試験や調査研究などの臨床研究等を通して医療の発展に貢献）
- ⑤ 医療機関で高度な専門性を発揮できる医療従事者（医薬品情報担当者、専門医療機関連携薬局担当者等として医療に貢献）

5. 開設予定の教育課程

教育課程を、「特論科目」、「演習科目」、「課題研究」に体系的に区分し、1年次から順次性をもって学修を進めることができるように編成します。また、社会人学生に柔軟に対応した授業を実施します。

① 特論科目

特論科目では、すべての大学院生が履修する必修科目と目的に応じて専門性の高度化を図ることのできる選択必修科目を履修します。

【必修科目】「基礎薬学特論」「医療薬学特論」「研究実践法特論」「研究・医療倫理特論」

【選択必修科目】「天然医薬品資源学特論」、「創薬化学特論」、「生体機能解析学特論」、「薬剤学特論」、「病態薬効解析学特論」、「免疫・アレルギー学特論」、「生化学特論」、「オミクス特論」、「薬物治療研究学特論」

② 演習科目

演習科目では、薬学分野の最先端の研究内容を模擬的・総合的に体験し、研究の方法論とプレゼンテーションのスキルを修得します。

【必修科目】「薬学総合特別演習Ⅰ」、「薬学総合特別演習Ⅱ」

【選択必修科目】「分子モデリング・シミュレーション特別演習」、「化学系高度分析機器特別演習」、「生物系高度分析機器特別演習」、「医療情報解析学特別演習」、「実践医療薬学特別演習」

③ 課題研究

課題研究では、研究能力の向上を目指し、研究室を中心にして研究指導を受けます。博士論文の作成につながるものです。医薬品化学分野、物理・薬剤学分野、応用生物学分野、薬物学分野、実践医療薬学分野などの研究領域から約20件の課題研究で構成されます。

例：「薬剤剤性に関する抗菌薬抵抗分子の構造・機能解析に関する研究」「生体におけるマスト細胞の生理的意義とその役割に関する研究」「がん化学療法に関わる臨床研究」「医薬品副作用の予測・予防に役立つ情報の構築」

設置構想概要資料

6. 学位の名称 博士（薬学）
7. 設置場所 金城学院大学 〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目 1723 番地
Tel: 052-798-0180(代表)
8. 入学定員 2人（収容定員8人）
9. 学生納付金 入学金 200,000円 授業料（年額）900,000円
10. 競合する大学・研究科・専攻等の名称
名城大学 大学院薬学研究科薬学専攻（博士課程）
愛知学院大学 大学院薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）
鈴鹿医療科学大学 大学院薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）

（注）上記の概要は現在計画中の予定であり、変更される場合があります。

金城学院大学大学院
「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」
(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【医療施設対象調査】

令和3年6月
株式会社 進研アド

医療施設対象 調査概要

1. 調査目的

2022年4月開設予定の金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」新設構想に関して、医療施設のニーズを把握する。

2. 調査概要

		医療施設対象調査
調査対象		医療施設の採用担当者
調査エリア		愛知県、三重県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	154施設
	回収数(回収率)	10施設(6.5%)
調査時期		2021年6月7日(月)～2021年6月13日(日)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

医療施設対象調査
<ul style="list-style-type: none">・人事採用への関与度・所在地・従業員数・正規職員・社員の平均採用人数・本年度の採用予定数・薬剤師の勤務者数・採用希望人数・金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」の特色に対する魅力度・金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」の社会的必要性・金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」修了生に対する採用意向・金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」修了生の毎年の採用想定人数

医療施設対象 調査結果まとめ

医療施設対象 調査結果まとめ

回答施設(回答者)の属性

※本調査は、金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」に対する人材需要を確認するための調査として設計。金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」の修了生就職先として想定される医療施設の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、10施設から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が同率で40.0%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答施設の所在地は、金城学院大学大学院の所在地である「愛知県」が70.0%を占める。次いで「三重県」が30.0%である。
- 回答施設の従業員数は、「100名～500名未満」が40.0%で最も多い。次いで「1,000名～5,000名未満」が30.0%、「500名～1,000名未満」が20.0%である。
- 回答施設の平均的な正規職員・社員の採用人数は、「10名～20名未満」が30.0%で最も多い。次いで「1名～5名未満」「50名～100名未満」が同率で20.0%である。
- 回答施設の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が60.0%で最も多い。「増やす」「減らす」は同率で10.0%である。採用予定数が「未定」という施設も一定数みられるものの、回答施設の多くは昨年と同等程度の採用が予定されている様子である。

医療施設対象 調査結果まとめ

薬剤師の勤務者数・採用希望人数

- 薬剤師の現在の勤務者数は、「1名～5名未満」が30.0%で最も多い。次いで「10名～20名未満」「30名～50名未満」が同率で20.0%である。総数は201人で、平均は20.1人である。
- 薬剤師の今後5年間の採用希望人数は、「1名～5名未満」が40.0%で最も多い。次いで「10名～20名未満」が20.0%、「0名」「20名～30名未満」が同率で10.0%である。総数は49人で、平均は6.1人である。

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」の特色に対する魅力度

- 金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」の特色である、「A. **体系的に区分した教育課程** 『必修科目』と目的に応じて専門性の高度化を図ることのできる『選択必修科目』から構成される【特論科目】、薬学分野における最先端の研究内容を模擬的・総合的に体験し、研究の方法論とプレゼンテーションスキルを修得することができる【演習科目】、博士論文を作成する能力を養うことができる【課題研究】など、体系的に区分した教育課程を提供し、1年次から順次性をもって学修を進めることができます。」の魅力度は80.0%である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した施設の合計値

医療施設対象 調査結果まとめ

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」の社会的必要性

- 金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」の社会的必要性については、70.0% (**7施設**) が「必要だと思う」と回答しており、多くの施設からこれからの社会にとって必要な研究科・専攻であると評価されていることがうかがえる。

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」修了生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- 金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」修了生を「採用したいと思う」(※薬剤師として採用)と答えた施設は、70.0% (**7施設**) である。
- 金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」の修了生を「採用したいと思う」と答えた7施設へ金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」修了生の採用(※薬剤師として採用)を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**7名**で、予定している入学定員数2名を3倍以上上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

医療施設対象 調査結果

回答施設(回答者)の属性

(人事採用への関与度/所在地/従業員数)

■回答施設の属性

Q1. はじめに、貴院・貴団体についてお教えてください。

◆人事採用への関与度

	標本数	単位	採用にかかわっている 採用の決定権がある、選	採用にかかわっていないが、 採用の決定権は持っている	意見収集・提供 立場にある 情報を提供 採用時には直接 かわらぬ情報	無回答
全体	10	%	40.0	40.0	20.0	0.0
		施設	4	4	2	0

◆所在地

	標本数	単位	愛知県	三重県	無回答
全体	10	%	70.0	30.0	0.0
		施設	7	3	0

◆従業員数

	標本数	単位	50名未満	50名～100名未満	100名～500名未満	500名～1,000名未満	1,000名～5,000名未満	5,000名以上	無回答
全体	10	%	0.0	10.0	40.0	20.0	30.0	0.0	0.0
		施設	0	1	4	2	3	0	0

回答施設(回答者)の属性

(正規職員・社員の平均採用人数／本年度の採用予定数)

■回答施設の属性

Q1. はじめに、貴院・貴団体についてお教えてください。

◆正規職員・社員の平均採用人数

	標本数	単位	0名	1名～5名未満	5名～10名未満	10名～20名未満	20名～30名未満	30名～50名未満	50名～100名未満	100名以上	無回答	平均〔名〕	合計〔名〕
全体	10	%	0.0	20.0	0.0	30.0	10.0	0.0	20.0	10.0	10.0	39.6	356
		施設	0	2	0	3	1	0	2	1	1		

◆本年度の採用予定数

	標本数	単位	増やす	昨年度並み	減らす	未定	無回答
全体	10	%	10.0	60.0	10.0	20.0	0.0
		施設	1	6	1	2	0

薬剤師の勤務者数・採用希望人数

■薬剤師の勤務者数・採用希望人数

Q2. 貴院・貴団体で、(1)現在、**薬剤師として勤務されている方**の人数、(2)今後5年間で**薬剤師として新たに採用したいと思う人数**を、それぞれお教えてください。(それぞれ、[]内に人数を記入)

◆現在の勤務者数

	標本数	単位	0名	1名～5名未満	5名～10名未満	10名～20名未満	20名～30名未満	30名～50名未満	50名～100名未満	100名以上	無回答	平均〔名〕	合計〔名〕
全体	10	%	0.0	30.0	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	20.1	201
		施設	0	3	1	2	1	2	1	0	0		

◆今後5年間の採用希望人数

	標本数	単位	0名	1名～5名未満	5名～10名未満	10名～20名未満	20名～30名未満	30名～50名未満	50名～100名未満	100名以上	無回答	平均〔名〕	合計〔名〕
全体	10	%	10.0	40.0	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	6.1	49
		施設	1	4	0	2	1	0	0	0	2		

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻 (博士課程)」の特色に対する魅力度

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」の特色に対する魅力度

Q3. 金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置認可申請中)には、以下のような特色があります。貴院・貴団体(ご回答者)にとって、この特色はどの程度魅力に感じますか。(あてはまる番号1つに○)

A. 体系的に区分した教育課程

「必修科目」と目的に応じて専門性の高度化を図ることのできる「選択必修科目」から構成される【特論科目】、薬学分野における最先端の研究内容を模擬的・総合的に体験し、研究の方法論とプレゼンテーションスキルを修得することができる【演習科目】、博士論文を作成する能力を養うことができる【課題研究】など、体系的に区分した教育課程を提供し、1年次から順次性をもって学修を進めることができます。

	標本数	単位	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	無回答	魅力度
全体	10	%	10.0	70.0	20.0	0.0	0.0	80.0
		施設	1	7	2	0	0	8

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した施設の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」の社会的必要性／修了生に対する採用意向／修了生の毎年の採用想定人数

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」の社会的必要性

Q4. 貴院・貴団体(ご回答者)は、金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置認可申請中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

	標本数	単位	必要だと思う	必要だと思わない	無回答
全体	10	%	70.0	20.0	10.0
		施設	7	2	1

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」修了生に対する採用意向

Q5. 貴院・貴団体(ご回答者)では、金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置認可申請中)を修了した学生について、薬剤師として採用したいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)

	標本数	単位	採用したいと思う	採用したくない	無回答
全体	10	%	70.0	20.0	10.0
		施設	7	2	1



「採用したいと思う」と答えた7施設のみ抽出

■金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」修了生の毎年の採用想定人数

Q6. Q5で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置認可申請中)を、修了した学生について、薬剤師として毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

	標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 5 9名	10名 以上	無回答	平均 [名]	合計 [名]
全体	7	%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	7
		施設	7	0	0	0	0	0	0		

一 審査意見 (6月) 資料1-120 ~ 9名 = 5名、「10名以上」= 10名 を代入し値を算出

卷末資料 調査票

調査票

薬剤師の採用ご担当者様

金城学院大学大学院
「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置認可申請中)
に関するアンケート調査

令和3年6月 金城学院大学

2022年(令和4年)4月より、金城学院大学大学院では「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称)を新設することを構想しています。
このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、構想中の「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称)の内容をより充実したものにするための参考とさせていただきたいと考えております。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

この調査についてご不明な点、ご質問などありましたらお手数ですが
金城学院大学 総務部 置田・磯部(TEL052-798-0180)までご連絡ください。

※このアンケートや別紙に記載されている内容は予定であり、変更になる可能性があります。

このアンケート用紙の裏面に直接回答をご記入のうえ、
【2021年6月13日(日)までにFAXでご返信ください】

ご返信先:FAX【052-798-4462】

※FAXにてご返信頂く際には裏面の回答ページのみをご送信頂きますよう、
よろしくお願い申し上げます。

金城学院大学では、2022年(令和4年)4月に、
新しく大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」(仮称)
を設置することを構想しています。

※別紙「金城学院大学大学院「薬学研究科 薬学専攻(博士課程)」
設置計画の概要」をご覧ください。裏面の質問にお答えください。※

(裏面)回答ページへ

卷末資料 設置構想概要資料



設置構想概要資料

金城学院大学大学院「薬学研究科薬学専攻（博士課程）」（仮称）の設置計画の概要

1. 名称 薬学研究科薬学専攻（博士課程） 【仮称、設置認可申請中】

2. 開設予定時期 2022（令和4）年4月

3. 設置の理念、養成する人材像

現代医療において、高度な専門性や研究遂行能力を駆使して問題を解決する力が一層強く求められるようになってきています。このために、薬学領域に関する高度な専門知識を主体的に蓄積し理解を深め、専門知識と医療との関わりについて考察し、論点を整理して課題を設定するとともに、設定した課題に最先端かつ高度な薬学的知識を駆使して取り組み、解決し、その成果を発信する力を養成することが求められています。このような背景のもと、薬学研究科は薬学専攻の単一専攻科とし、高い倫理観、及び薬学領域に関する高度な専門知識と研究能力を通じて課題を設定し問題を解決する能力を有し、薬学研究に貢献できる研究者・医療従事者を養成することを目的とします。

4. 修了後に想定される主な進路

- ① 学術界における薬学研究者（薬学の専門家・教育者として後進を指導し社会に貢献）
- ② 産業界における薬学研究者（創薬、食品、化粧品研究等を通して社会に貢献）
- ③ 公務員（国立研究機関、公設試験研究機関での研究等を通して社会に貢献）
- ④ 医療機関における薬学研究者（臨床試験や調査研究などの臨床研究等を通して医療の発展に貢献）
- ⑤ 医療機関で高度な専門性を発揮できる医療従事者（医薬品情報担当者、専門医療機関連携薬局担当者等として医療に貢献）

5. 開設予定の教育課程

教育課程を、「特論科目」、「演習科目」、「課題研究」に体系的に区分し、1年次から順次性をもって学修を進めることができるように編成します。また、社会人学生に柔軟に対応した授業を実施します。

① 特論科目

特論科目では、すべての大学院生が履修する必修科目と目的に応じて専門性の高度化を図ることのできる選択必修科目を履修します。

【必修科目】「基礎薬学特論」「医療薬学特論」「研究実践法特論」「研究・医療倫理特論」

【選択必修科目】「天然医薬品資源学特論」、「創薬化学特論」、「生体機能解析学特論」、「薬剤学特論」、「病態薬効解析学特論」、「免疫・アレルギー学特論」、「生化学特論」、「オミクス特論」、「薬物治療研究学特論」

② 演習科目

演習科目では、薬学分野の最先端の研究内容を模擬的・総合的に体験し、研究の方法論とプレゼンテーションのスキルを修得します。

【必修科目】「薬学総合特別演習Ⅰ」、「薬学総合特別演習Ⅱ」

【選択必修科目】「分子モデリング・シミュレーション特別演習」、「化学系高度分析機器特別演習」、「生物系高度分析機器特別演習」、「医療情報解析学特別演習」、「実践医療薬学特別演習」

③ 課題研究

課題研究では、研究能力の向上を目指し、研究室を中心にして研究指導を受けます。博士論文の作成につながるものです。医薬品化学分野、物理・薬剤学分野、応用生物学分野、薬物学分野、実践医療薬学分野などの研究領域から約 20 件の課題研究で構成されます。

例：「薬剤耐性に関与する抗菌薬抵抗分子の構造・機能解析に関する研究」「生体におけるマスト細胞の生理的意義とその役割に関する研究」「がん化学療法に関わる臨床研究」「医薬品副作用の予測・予防に役立つ情報の構築」

設置構想概要資料

6. 学位の名称 博士（薬学）
7. 設置場所 金城学院大学 〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目 1723 番地
Tel: 052-798-0180(代表)
8. 入学定員 2人（収容定員8人）
9. 学生納付金 入学金 200,000円 授業料（年額） 900,000円
10. 競合する大学・研究科・専攻等の名称
名城大学 大学院薬学研究科薬学専攻（博士課程）
愛知学院大学 大学院薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）
鈴鹿医療科学大学 大学院薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）

（注）上記の概要は現在計画中の予定であり、変更される場合があります。